### 2022年度

### シラバス



#### 学校法人 湯梨浜学園

### 湯梨浜学園中学校

〒689-0727 鳥取県東伯郡湯梨浜町田畑 3 2 - 1 TEL (0858)48-6810 FAX (0858)48-6813

## 第1学年

Г	教 科 名	<u> </u>	国語	科	目 :	名	Т	国語	単	位	数	5	
	対 象		中学1年	履	修形	態		必修	授	業形	態	一斉	
Г	学習の	① 国語	語を学びながら、	確かな	知識と他者	を理	解。	トる力、自身の意見を(	他者に	伝えるナ	を養う	9	
	到達目標	1 –	ハ思考力・読解力					. •					
	A E H M							)力を他者や外部にむけ	けて発	信出来る	うように	なる。	
	評価の観点	① 知記	哉・技能…定期考	査、単	元別テスト	の取	り組	且みで評価。					
	評価 方法	-						<b>は、課題提出物などで</b>	評価。				
	H1 (M >> 12		本的学習に取り組									· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
								りな思考と確かな知識さ		- 0			
1	学 習 方 法							らへのアプローチ方法 <sup>・</sup>				を育てる。	
_							_	-く伝えることを目指-	す取り	組みを行	ŕð.		
	数科基•数材等		国語1・2(東京										
<u>_</u>		中1 徹	底演習テキスト				写	(学図) 自作テキスト		Ľ			
-	No. 3151		年 平	間		·	T	業計	画				ρ
月	1	谷	学習の				月					のねらい	時数
	国語の基礎文法・単語		文章を論理的に			1		「ニュースの見方を  よう」	考え	筆者のに読み		理解し、情報を的確	
Ì	文章の読み方		国語の基本であ文の構造・主述					[ <del>-</del>		I CDLOT	収る。		
	大早の凱み刀		人の博足・主座	の人気です	よこを子か。		l	「『常識』は変化す	Z :	安細的	か恵宝し	:、その事実に基っ	
4	国語・漢和辞典の使	い方	国語辞典・漢和	辞典等の	の効果的な	15	10	一田町川 は次169	[به.	く筆者	ェザ天 C の主張を	: 、ての事美に塞つ :読み取り、明確に	20
	Line Ottom X-3 ix	~. //	利用方法を学ぶ		· > /93/KH 3.00							にする。	
								復習及び発展内容					
Г	「話し方はどうかな	: ]	話すときの適切				Г	「集まって住む」				現を理解し、絵や	
	「ハチドリの不思議	ŧ.	いて理解し、音									で立ている。	
			象・具体など、 基本ルールを学。		死むための					現でさ	るように	-する。	
5					region to Europe	20	11						20
	「さんちき」		文章の展開を理例										
			情の変化をとら		自まん、心								
┢	「小さな発見を詩に	しよ	様々な表現の仕	方を学び	び、自分の	<del>                                     </del>	-	「字のない葉書」		登場人名	勿のもの	の見方や考え方に	+
	う」「詩の心」		表現する幅を広い					, - 01 NC Maj				自分の考えを持	
	「飛べ、かもめ」									つ。			
6	古文の基本		語句や歴史的仮名			20	10	復習及び発展内容					1,
ľ	「さまざまな古典作	品を知			ばら音読	20	14						15
	ろう」		し、古文に親し	۵.									1
	「伊曽保物語」												1 1
<u> </u>	「竹取物語」 「碑」		戦争の悲惨さや	は時の出	と泊を学			復習及び発展内容					
	' 14 <del>1-</del> .j	3	び、自分の考える					接自及い光板的谷					
			文章を正確に読み	り取る力	」を養う。			「メッセージをどう問	聞く	筆者の=	ド張を的	確にとらえ、目的	
								מים [יים	,			の形態や展開に違	
7						15	1					理解する。	15
	「質問しよう」	1	表現力、伝えるプ										
	「会話が弾む質問を	しよ	には、皆の前で多 する。	そ表でき	きるように								
	う」 	l	1 少a	<u></u>		$oxed{oxed}$							
	復習及び発展内容							「方言と共通語」				めて処理し、自分	
								「方言のクッション」		の考える	に伝える	•	
		1						十十八年四		[H+==	<u> </u>	然草」の学習を通	
8						5	2	古文の復習 「徒然草」				然早」の字音を理 のの考え方や社会	
		ļ						「枕草子」		状況を理	単解する	。歴史的仮名遣い	
		l						V#-T- 1 3				言中心に文法事項	
										の復習を	:17り。		
	「オオカミを見る目	]	段落の役割や、具	及落同士	の関係に			「説得力のある提案を				力を養う。最終的	$\top$
	「スズメは本当に減			<b>酵成を扱</b>	え、内容			よう」			ディベー	ト等を通して、実	
	るのか」		を理解する。						I	践する。			
9	First de la de la de	ļ	Salde william specific and the second second second	\#.L.	4. 9 1- 10	20	3	A TOTAL OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF THE					15
	「漢文に親しむ」 「矛盾」		漢文を読むための 点などを学び、遵					1年間の復習及び発展			復習及	び、発展内容を学	
	- /// / / / / / / / / / / / / / / / / /			~~ (~ A)					l	習する。			
Ì									j				
備	考 ・適宜、作文・/		導を行う。	・適年	主、書写の打	受業?	を行	Ď.	1				
-414				~ez .0		-/-	13						

	教 科 名	社会	科目	名	Т	地理	単	位	数	5						
L	対 象	中学1年	履修形	態	1	必修	授	業形		一斉						
		① 日本や世界の地理的	的な事象に対する	関心を	高以	うる。	·			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
ļ	学 習 の	② 各地域の地理的事象	を位置や空間的	な広が	りカ	ゝら捉えるための視点	や方法	を身につ	ける。							
	到達目標	③ 日本や世界の諸地域	はとの相互関係や	地域的	特性	上、共通性に着目し、	諸事象	が変容し	ているこ	ことを理解する。						
		④ グラフ・地図の読み														
	37; /rr	① 知識·技能…定期考	査、ワークシー	トなど	をも	っとに評価する。		·····								
	評価の観点	② 思考・判断・表現…	定期考査、ワー	クシー	١,	授業内の発表などを	もとに	評価する	o.							
1	評 価 方 法	③ 主体的学習に取り組														
		① 地球儀や地図を多用	·					<del> </del>	理解させ	トー各地域の特色や	b違					
		いについて地理的な		1		- mar S.A Imperiorar D.A. D.I. A. C.				- ( 1 1 2 3 - ) ( 1 1 1	`~_					
	学 習 方 法	② 統計資料や、地勢図		を通し	夕	・地域の特徴を地理が	ルキレ	めたり発	表したり	オスちはな姿ら						
		③ 白地図を使用し、日								リンの仏を捉り。						
$\vdash$		新しい社会地理(東京			-					トルタットローカ)						
	教科書·教材等	ワーク地理Ⅱ(エデュク						<u> </u>	<b>7</b> = 7	() ( A						
-		年	間	授	2)	業計	画画			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
月	学習内		りねらい		月			~	4 313 a	りねらい	Pr# 156					
73	1世界のすがた		違いや地図の種		77	4 日本の様々な地				域を学ぶにあたり	時数					
	①地球のすがた		位置を理解する。	* · · · ·		①地域調査の手法				峨を子ぶにめたり 地形図の読図とい	`					
	②世界のすがたと		匹臣で在外 うる	,			4				1 1					
		②世界のすがたと       ・地形図       ・ 支能を習得する。         さまざまな地域       地図を見たり、写真を見たりしな       ・ 文献、資料調査         ③地球上の位置       がら特に五感を使い、徐々に地理       15 10 ②都道府県と地方区分														
4				115	10						20					
	() FE (1)   E (E)	プロスティンの位置 から行に五感を使い、保々に地理 学習の視点や方法を身につける。														
		THOUSE CONTRACTOR	MENIC 21) 20	'		5世界から目を日本	(A)	世界から	、目か日	木という細占で	-					
						すがた	. 0 /	1		を学習しそれぞれ						
<del> </del>	④国々の国名と位	7署 世界各国の位置	を地図帳を使っ	~ <del> </del>	╁	①日本の自然環境	の結合	1 ' '	. ,,		$\vdash$					
	OH PHICE	1	れぞれの国の形	1		・世界の地形	70>10	1		を向け、地域の特						
		大きさを理解す		`		・日本の地形		色ある自								
	⑤世界の地域構成		・日本の地域構 <i>f</i>	#		・世界の気候				小へ。 水量を見ながら、						
5	日本の地域構成	1	、時差のしくみ	1 70	11	・日本の気候				の特色とそれをも	20					
	H > 1 > > D - 34 (11) %	i .	、 M 左のじ、か いても理解する。			<ul><li>・自然災害</li></ul>				付くことによって						
	2世界各地の人々の		の生活を、写真			13 M M C				とを理解する。	1 1					
	と環境	資料を使いなが		1				70-5X/E/	· 6) · 5 C	Certify Vo						
$\vdash$	①雪や氷の中の人		5. C. A.		-	②世界と日本の人		世界人口	1の推移	を見て、日本の人	H					
	~常夏で暮らす					・世界の人口	-			方を考える。						
	②低い土地・山に		候を学びかがら	- 1		・日本の人口		11 - 5 107-62	, - 2 0 5 7 3	O 6 1 1 6 9 6	1 1					
	す人々	地域の気温や降		<del>+</del>		・日本の過疎と	温率									
6	③世界の気候区分		活に気候が深く	1.20	12	③世界と日本の資		世界の資	F源の生産	産地を見ながら、	15					
i i	④人々の生活に植					・世界の資源	10.41			の偏在性に気付き、						
	宗教					・世界の産業		i		数、課題を理解す	1					
	4.0					・日本の産業		る。		See Additional of security 1.						
	3世界の諸地域	世界の諸地域の	国々の産業や自然	火		④世界と日本の結	びつき		が通を見7	ながら地域間の広	$\vdash$					
	①アジア州	をつかみながら	、マクロ的に且つ	)						また時間距離が	1 1					
	②ヨーロッパ州	ミクロ的に地理	観を身に付ける。			・日本各地を結	ぶ交通	短くなっ	たことし	こ気付く。						
		各州の特色を、	白地図を使いなる	20		と通信					1					
7		ら意識的に国の	特色をつかむ。	15	1	・貿易					15					
			* .													
				-		6日本の諸地域		日本の諸	地域を	那道府県という小	1					
						①九州地方		世界の自	然や産業	業を通して、それ						
$\dashv$	③アフリカ州	世界の諸地域の	国々の産業や自然	*		②中国四国地方				り特色をつかみ、	H					
	•	をつかみながら、				③近畿地方				字に付ける。						
		ミクロ的に地理	観を身に付ける。			④中部地方	ı			よ角度から見るこ						
8		各州の特色を、	地図帳を使いな	5	2	⑤関東地方				体に気付く。	20					
		がら意識的に国	の特色をつかむ。			⑥東北地方				- · · <del>-</del>						
			4			⑦北海道地方										
		4														
$\neg$	④北アメリカ州	世界の諸地域の	国々の産業や自然	*		7地域のあり方		身近な地	域におり	ける課題を把握し、	H					
	⑤南アメリカ州	をつかみながら、	マクロ的に且つ				i i			て解決策などを提						
	⑥オセアニア州	ミクロ的に地理律	<b>覗を身に付ける。</b>				1	案できる								
_		各州の特色を、地	也図帳を使いな								, _					
9		がら意識的に国の	の特色をつかむ。	20	3						15					
							ļ									
					]											
備	考															

Г	教	科 名	数学	科	目	名	T		代数	単	位 数	4	**
	対	象	中学1年	履	修开	彡 態			必修	授	業 形態	一斉	
	学到	習 の 達 目 標	<ul><li>日常の事象(や社会の) りする力を育てる。</li><li>変字の事象から(見理 でる。</li></ul>										
		価 の 観 点 価 方 法	③ 数学的な表現を用い ① 「知識・技能」定其 ② 「思考・判断・表明 ③ 「主体的に学習に取 ①②が7割程度、③	テスト  」小テ  文り組む	による ストや; 態度」	評価 定期テ 提出物・	ストにや授	こよる	5評価		3		
	学	習 方 法	① 教室での授業を基本 図る。 ② 放課後に演習問題、 ③ 宿題プリントはその	<ul><li>さし、</li><li>質問な</li></ul>	必ず予" どに応	習をす。 じる。	3。 i 3熟;	が不日	一分の場合は放課	後補習	をする。個別の	<b>添削を行う</b> 。	争を
	教系	斗番・数 材 幸 一	体系数学1 代数編(数 未来へひろがる 数学)	效研出版 L 、 2	() 、体 (啓林館	系問題 )		数学	1 代数編 標準	(数研			
123	Τ	学習内名	年	間かれ		授	l r	業	計 学 習 内 名	画	777 AA	7) 30 8 11	<del></del> -
月 4	第 1.	子 盲 PY 4 1章 正の数と負 正の数と負の数 加法と減法	の数 数の範囲を拡張	し、正 する。 の加法	の数・負と減法の	意の意	数 月	5.	連立方程式の利		文章を数式にす ことを利用し、 用することがて		16
	2	乗法と除法	正の数・負の数	の垂注	レ除生の			第:	5章 1次関数 変化と関数 比例とそのグラ		て変わる数量を 意味と変域につ ができる。	中から、ともなっ 見いだし、関数の いて理解すること 関係を式やグラフ	1 1
5		四則の混じった	味を理解し、そ 計算 数の範囲と四則 いて考え、身近 用いて表現し、	の計算 計算の な事象	ができる 可能性に を負の数	う。 こつ 女を 1	6 11	3.	反比例とそのグ	ラフ	に表したり、身 解決したり、訪 ができる。	(のまわりの問題を 明したりすること	16
	1.	2章 式の計算 文字式	きる。 いろいろな数量 を、文字を用い に表現するよさ	て一般に を理解	的かつ簡 する。	潔		4.	比例、反比例の		見方や考え方を ことができる。 比例のグラフを	、比例や反比例の 利用して解決する よみとって、具体	
6	3.	多項式の計算 単項式の乗法と 式の値		法や減 計算が	生、単項 できる。	1	5 12		1次関数とその	グラフ	数のグラフがか	を理解し、1次関 けたり、直線が与	
		文字式の利用	文字式で数量及 らえ説明できる 量の関係や規則 一般的に説明す	ことを <b>5</b> 性を文	理解し、 字を用い	数して		6.	1次関数と方程	式	が求められる。 1次関数のグラ 式のグラフとの	き、その直線の式 フと2元1次方程 関係や、連立方程 との関係を明らか	
	第 3	3章 方程式 方程式とその解	方程式とその意 ことの意味を理 を使って、簡単 とができる。	解し、急	穿式の性	質 1:	2 1	1	1 次関数の利用		する。	1次関数とみなし、	12
	2.	1次方程式の解	て方程式を解く また、方程式を	ことが <sup>*</sup> 解く手順	できる。 頁をまと	め、		1	章 不等式 不等式の性質		等式を解くこと	理解し、簡単な不 ができる。 の大小関係を式で	
8			いろいろな方程: きる。	式を解く	くことが	で 4	2		不等式の解き方 不等式の利用		表したり、条件 を求めることが	を満たす値の範囲 できる。	16
9		1次方程式の利用	とり、式としての理し、解決する	表現し、 ることが	その式 ができる	を 。 16	3		連立不等式	]:		味を理解し、簡単たり、文章を式にができる。	12
備		連立方程式	連立方程式とその を解くことの意味 方程式を解くこ。	未を理角	遅し、連	- 1		問題	演習			A	

教 科 名	数学	分 野	名	Т		幾何	単	位	数	3	
対 象	中学1年	履修形	態	T		必修	授	業形	態	一斉	
学 習 の 到 達 目 標	① 図形に関する基礎的 ② 事象を数理的に考察 ③ 数学的活動の楽しさ	くする能力を高める 、数学的な見方・	。 考え	.方の	こよさ	を知り、それら	を積極	的に活用で			
評価の観点 評価方法	<ul><li>④ 発展的内容を積極的</li><li>① 「知識・技能」定期</li><li>② 「思考・判断・表現</li><li>③ 「主体的に学習に取</li><li>①②が7割程度、③</li></ul>	テストによる評価  」小テストや定期  なり組む態度」提出	  テス  物や	トに ·授業	こよる	評価	<del></del>	おくべき	内容を循	效底して習得する。	3
学 習 方 法	① 教室での授業を基本 ② 放課後に演習問題、 ③ 宿題プリントはその	質問などに応じる )日のうちに、丸付	。習 け、	熟が間違	ぶ不十 ないの	分の場合は放課 やり直しをして、	後補習、提出	をする。( 日を守っ <sup>っ</sup>	固別の湯	※削を行う。	
教科書・教材書	体系数学1 幾何編(数 未来へひろがる数学1、	2 (啓林館)		数字				文) —————			
月 学習内名	年 マ <b>マ マ マ</b> マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ	間 授 ) ねらい	<del>-</del>	月	業	学習内容	画	堂	習 <i>(</i>	ねらい	時数
第1章 平面図形 1. 平面図形の基础 2. 対称な図形 3. 図形の移動	を 図形を学ぶ上で 線」や「点」な 「線対称」と「	必要不可欠な「直 どの用語を学ぶ。 点対称」、「回転 移動」の考え方を		10	1.	章 図形と合同 平行線と角 多角形の内角と		平行線の	性質、 を理解	多角形の内角と外 し、図形の証明の	
4. 作図		習得することによ ての見方・考え方	12	11		三角形の合同条証明の進め方		利用して るように 基本的な び、筋道	三角形 する。 証明の を立て	中を導き、それを の合同を証明でき 組み立て方を学 て考える態度、表 こつける。	12
5. 面積と長さ	算などを学ぶ。	積、周の長さの計 補助線を用いる必 図形の面積、長さ	12	12		証明の進め方の紛 章 三角形と四月 二等辺三角形			の定理を	生質を学び、それ を用いて証明でき	
第2章 空間図形 1. いろいろな立体 2. 空間における平 直線 3. 立体のいろいろ 方	る。平面と直線、 係などを理解する な見 面が動いてでき	る立体、立体の切 開図など立体のい	9	1	2.	直角三角形の合				司条件を学び、そ こ応用できるよう	
問題演習			3	2	3.	平行四辺形		し、性質 ようにす。 平行四辺 け加える。	を証明する。 形にどの ことで長	きや性質を理解 することができる ひような条件を付 を方形・ひし形・ いを考える。	12
4.立体の表面積と体	THE MANY OF THE PARTY OF THE PA	十算を利用した立 五積、体積の計算 5。	12	3	4.	平行線と面積		平行線とi	面積の関	関係を利用し、面 を改める方法を	9
	<u> </u>		ш			W-1-1-1-100					لــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ

	数   科   名     対   象	理科 中学1年	科 : <b>履</b>		<u>另</u>	F	中学理科 必修	単	位 業 形	数能	3 一斉	
$\vdash$	刈		1 12			科学	<u> </u>				一角	
	学習の	② 観察, 実験										
	到達目標	③日然の事物	<ul><li>・現象に進んで</li></ul>	関わり、科	子的	に扮	₹究しようとする態度₹	と養り。				
T		_					トの提出状況、及び	その内容	容で評価			
	評価の観点 評価 方法	② 思考・判断					Eで評価 計動状況、課題の取り約	日本事	ロで証価			
	#1 Im 23 IA	O THURST		12.	* \	V / IE	TBGTVCDLC B木BBマンAX ソル	T 0 > 1/(1	九 乀 6 下 8 叫			
		① 授業の板書					· -					·
	学 習 方 法	② 授業時に行  ③ 自ら進んで					、る。					
L		-l						-15. 15. 6.E.				
	教科書·教材等						ろがるサイエンス2(7 )理科-生物・地学-(7					
			年 間	授			業計	画				
月	学習内3	<b>○</b>	智 の ね	6 W	時数	月	学 習 内 容 ・ いろいろな気体と				) ね ら い 体の性質を学ぶ。	時数
	・自然の中にあふれ	1					<del>ح</del> ر	の性質				
	・植物の特徴と分類	1	竟の使い方を学、 つくりとはたら	-			・水溶液の性質		<ul><li>物質が</li><li>を学ぶ</li></ul>		ける現象のしくみ	
4	100 100 TO 10 100 C 20 70	・子葉・	葉・根のつくり		9	10			・質量/	ーセン	ト濃度の計算につ	12
		を学ぶ ・植物の	ぶ。 D分類について	学ぶ。			<ul><li>物質のすがたと</li></ul>		いて学 ・ <b>・</b>		いて学ぶ。	
<u></u>	・動物の特徴と分類	・脊椎動	助物、無脊椎動	物の生活や			その変化				方法を学ぶ。	
			ごのつくりを学。 O分類について									
	生命編②											
5	・生物のからだを つくるもの	・動物系	田胞と植物細胞の	の違いを学	12	11						12
	・植物のからだのつ		えと呼吸につい	て学ぶ。								
	はたらき ・動物のからだのつ	くりと・栄養を	}はどのように(	体内に取り								
T	はたらき	入れら	れているかを	※ る 美	-		エネルギー編①					T
		<ul><li>・血液カ かを学</li></ul>	ゞどのように流ね きぶ。	れているの			・光による現象		<ul><li>・光の性</li><li>・空気と</li></ul>		ぶ。 の境界での光の進	
6	・動物の行動のしく		受けとってかり		12	12			み方を	学ぶ。		9
		つまで	『のしくみを学』	రా <u>ం</u>					・凸レンぶ。	スによ	ってできる像を学	
							・音による現象		・音の伝			
$\vdash$										幅・旅	動数と聞こえる音	Н
7					9	1						
•					y	1						9
						_	地球編①					$\perp \downarrow$
							・ゆれる大地		・地震の	ゆれや	寺徴、ゆれが伝わ	
							・火をふく大地			みを学え のできる	ぶ。 方を学ぶ。	12
8					3	2	八世の人人地		八八八石	v) (	0 € <del>1</del> ×0.º	12
						İ						
												Ш
	物質編① ・いろいろな物質と	• 金属	非金属や有機物	勿、無機物								
		の性質 の分類	を学ぶ。	- V VIN 198/1124								
9		・密度に	ついて学ぶ。		12	3						9
備	考		****	······································								

教 科 名	音楽	科目名	音楽	単 位 数	1
対 象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学 習 の 到 達 目 標	なものにする態度を	∵育てる。 ○美しさを感じ取り、基	、音や音楽への興味・関 礎的な表現の技能を身に 賞する能力を育てる。		
評価の観点 評価方法	② 音楽文化に対する総	合的な理解を深め、その	造的で個性豊かに技能を のよさや美しさを個性豊 的・主体的に音楽活動を	かに味わう。	Ď.
学 習 方 法	<ol> <li>腹式呼吸による豊か</li> <li>アルトリコーダー、</li> <li>楽典の基礎を学び、</li> <li>発想記号、強弱・作する。</li> </ol>	クラシックギターの基 視唱(奏)力を付ける。		てより深く理解、鑑賞、	表現出来るように
教   科   書     教   材   等	中学生の音楽1(教育芸	術社), 中学生の器楽(巻	教育芸術社)ほか		
	年	間 授	業計	画	
月 学習内:	容 学習σ	) ねらい   時数	月 学習内容	学 学 習 の	りねらい bbb

L			Z.		来		
月		学習のねらい	時変	月		学習のねらい	時数
4	「We'll Find The Way」 「パフ」 「朝の風に」 「学園歌」	・腹式呼吸を基本とした豊かな 歌唱力をつける。 ・基本的な発声法を身に付け、 自分のもつイメージ・感情を のびのびと楽しく表現出来る ようにする。	3	10	「かっこう」 「聖者の行進」 「オーラ・リー」	・Aリコーダーによる独奏・合奏を通して、リコーダーの基本を身に付け正確な演奏が 出来るようにする。	4
5		・ゲームを通して、楽典の基礎 知識を身に付ける。 ・ギターによる独奏・合奏を通 して、ギターの基本奏法や基 本知職を身に付け、正確な	4	7-1	郷土の音楽 「魔王」「春」 「サウンドオブミュー ジック」	・鑑賞を通して、歴史・文化・ 風土を含め、より深く作品に ついて理解出来るようにする。	4
6		演奏が出来るようにする。	4	12			ဘ
7			3	1	「マイバラード」 「夢の世界へ」 「ふるさと」 「卒業式関連唱歌」	・調和した和声を目指す2~3 部合唱を行う。	3
8	「かっこう」 「聖者の行進」 「オーラ・リー」	・Aリコーダーによる独奏・合奏を通して、リコーダーの基本を身に付け正確な演奏が 出来るようにする。	1	2			4
9			4	3			3

備考:曲目は変更される場合があります。

	教	科	名		美術	科		名		美術	単	位	数	1	
	対		象		中学1年	履	修 形	態		必修	授	業	形態	一斉	
				① 美	術に対する親 しみ	と興味	を育てる	,							
	学	習	$\mathcal{O}$	② 自:	分の感性を大切に	し、自	信を持つ	て制作	に脳	む。					
	到	達目	標	③ 中	学校で学ぶ美術の	導入と	して、基	本的な	技術	fを習得する。					
Г	en:	tre on test	.	① 美征	析の創造活動の喜び	バを味れ	つい、主体に	的に表	現や	鑑賞の学習に取り組も	うとす	る。(	美術への関	心・意欲・態度)	
		価の観価 方		② 感性	<b>生や想像力を働かせて</b>	豊かに多	発想し、よさ	や美し	さな	どを考え心豊かで創造的な	よ表現の	構想を維	東っている。	(発想や構想の能力)	
	ā†	ТЩ //	亿	③ 感性	Eや造形感覚などを働か	4世で、妻	表現の技能を	身に付け	、意	図に応じて表現方法などを創	削意工夫	し創造的	に表している	。(創造的な技能)	
Г		***************************************	***************************************	① 個	人制作と、一斉授	業。									
	***	əs 1.	N.T.												
İ	字	習方	法												
İ															
							¥	術1	/ H -	文)、美術資料(秀	学社)				
	数和	科書・教材	学	水彩用	具、スケッチフ	ブック				~/ C JCMI SQ TI (JV	, 1 1-7				
	2/1	II D JAN	1 1	71×71×71.		// \	、天門民	171 1	× (						
<b> </b> -		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			年	貫	1	 授		業計	画			<del></del>	
月	Г	学 習	内:	<b></b>	学習σ				月			Ι	学 翌 σ	りねらい	時数
73		筆で静物、			対象をよく観察			147.90	17	水彩で静物、風景を		松第-		グ 44 - 5 - V: 学んだ明暗、量	P-7-30
İ		苗く。	\*********	/ (12)	量感、質感など					THE CHEST MARKE	ım 🗸 o	1	どを色彩で どを色彩で		
	l - '	0			THE PROPERTY OF CA	1III J.	, <b>,</b> ,			*9月の内容の継続		120.00	LAV (		
									l	1		j			
4					Í			l	10						
					Į.										1
										シナ材の板からお面	を	能面、	伎楽面な	どを参考にしな	
										彫刻刀を使って彫る。	Q	がらた	思像力を働:	かせ、自分らし	
												い表現	見ができた	か、最後まで仕	
5								1	11			上げる	ることがで	きたかどうかを	
Ü									11			みてい	· > < °		1
								- [							
															-
															1
6									12						
															1
															1
	卢尔	<b>火ルケッチ 1</b> .	1× 201	进	フケッゴの次的。	E₂ / 1. )	<del></del>	-		機費士フ		<b>安</b> 477	ED A BEAGE	公産1 イ 世	╁
		然物をもと に構成する		垣	スケッチや資料で じ取ったことや3					鑑賞する。				を通して、生	
	ロリャ	〜1件队りつ	o		形や色彩で表現っ	•	_ C & .					50~	- とへの願い	いをよみとる。	
					形で色彩(衣苑)	, D.									İ
7									1						
								$\vdash$		文字のデザイン		1, 5 1	ハンガナ 中土	<del>に</del> -ナ z	<del> </del>
										スナのナザイン		レグリ	レグを実施	性りの。	
8									2						
١									-						
	水彩	がで静物、	風景を	描く。	鉛筆デッサンで学	さんだ則	用暗、量	+	$\dashv$						H
	- 12				感などを色彩で表				Ì						
İ							-								
ا ،									ا ر						
9									3						
l															
ł									ł						
				l				丄丄							
備	12.														

	教 対	科	名 象	<del></del>	保健体育	分 履		名 上	L	保健体育	単	位 業 形	数	3	
-			- 家		中学1年			<u>ė</u>	<u> </u>	必修			態	一斉	
	学到	達目	の 標	運動		能力を	育てるとと			とについての理解と運 その保持増進のための					
		価の観価 方		~	τ物や提出物など 競技の技能を実技					を高めようとする意 <sup>2</sup> 価する。	欲・関	心・態度	を評価で	する。	
-	н і	ищ //	14	③ 各等 ① 集团		振り返	り、努力・	工夫	した	ことを思考・判断と	して総	合的に評価	面する。	3	
	学	習方	法	② 基础	雄的・合理的な運 斗書・資料を用い		践								
<u> </u>	教和	斗書・教材	才等		応じて視聴覚教材 保健体育(大日オ				*			······································			
		274 775	1 4 4		年	間			1 =	業計	画	1 32	1217		
尸		字 沓 つくり運動	内:	<del>谷</del>	学 習 <i>の</i> 体を動かす楽			時数	月	学習内容 武道(剣道)	<u> </u>			の ね ら い <sup>終しさや喜びを味</sup>	時数わり
4	運	本育理論 動やスポー み方	ーツの多	多様な楽	味わい、体力を た運動を身につ ことができる。 運動やスポー とについて理解	け、組 <i>。</i> ツが多	み合わせる る こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	9	10			きるよう 相手の ら基本と	にする 動きに なる技	▽基本となる技が ○。 □応じた基本動作 ②を用いて、打っ ○などの攻防を展	か た <sub>12</sub>
_	陇	 上競技			記録の向上や	語技の	直のと「追	<u> </u>		器械運動(マット・)	北バ箔)	技がで	きる楽	としさや喜びを味	+
5		L MIX			びを味わい、基 の良い動きに取り 積極的に取め、ル などをすること ろうとすること	本的な動 につける 組むとも 一 、 分担し	動きや効率 る。 はに、勝敗 マナー役割を した役割を	12	11	66700、建盟(マッド・前	76 (O'748)	い、その にする。 マッ基本 と、条件	技 運的を変え	りよくできるよ は、回転系や巧 を滑らかに行う た技で、発展技	う 技 こ を 12
					果たそうとする に気を配ること	ができる	5.					こと。		らを組み合わせ	
<u> </u>					特性や成り立 い方、関連して			<u> </u>						は、切り返し系· 」な技を滑らかに	
					理解し、取り組。 る。	み方をコ	L夫でき					うこと、 を行うこ		変えた技、発展:	支
6								12	12						9
7	球技	支(ソフト	ボール)		勝敗を競う楽い、基本的な技だた動きでゲームが ベースボール・バット操作と走 バット操作と定位置 ル操作と次防を展	能や仲間で が展しての 型での守備	間と連携し できる。 基本的な 女撃、ボー 情などに	9	1	球技(バスケットボー	- ル)	い、基本 た動きで ゴール 間に走り	的な技 型でで ひむな	しさや喜びを味 能や仲間と連携 が展開で単作さる。 、ボール操作とる。 どの動きによっ 防を展開する。	空
	<b>%</b> /i	ふ身の機能	の発達		心身の機能の		)の健康に								
8	/L	いの健康			ついて理解できた			3	2	球技(バドミントン) ダンス(約4時間)		い、基本 た動き ネット 操作と定	的な技 グーでで 型で置に	しさや喜びを味 能や仲間と連携 能 展開 ときる。 ボールや 用具ら 戻るなどの動きら 所をめぐる攻防	12 D
	水污	k(約2時	間)		記録の向上や第 びを味わい、泳?		9					展開する		121 C 42 1 O CAN	
9					とができるようし	こする。		12	3			踊ったり い、イメ	する楽 ージを	踊ったりみんなる しさや喜びを味れ とらえた表現や ができる。	9 9
備	考	······································												White the state of	

	教 科 名	技術・家庭	分 野	名	Τ	技術分野	単	位	数	1	***************************************
	対 象	中学1年	履修形			必修		業形		一斉	
	学 習 の 到 達 目 標	<ul><li>① 生活と技術についる</li><li>② 生活や社会の中から 題を解決する力を表</li><li>③ よりよい生活の実践</li></ul>	ら問題を見いだし 養う。	て課題	を設	定し、解決策を構想	し、実	銭を評価	・改善し、	表現するなど、	
	評価の観点 評価方法	① 関心・意欲・態度 ② 知識・理解・・・ ③ 表現・思考・判断	ノート、発表、レ	パート			判断	di di di di di di di di di di di di di d			
	学習方法	① 作品の製作・完成を I C T機器等を利用					また、	教科書だ(	けではな。	ζ,	
	教科書·教材等	技術・家庭 技術分野 (	(教育図書株式会	社)							
		年	間	授	·	業計	画				
月		<del></del>	のねらい	時数	月	**************************************				ねらい	時数
4	<ul><li>&lt;栽培&gt; 栽培と私たちの</li><li>1.作物の生育を調う</li><li>2.生育の様子と制技術の基本を知ろう</li></ul>	親培への意欲・ 栽培の知識を深 栽培	関心を持つ。	3	10	やすくしよう 5. 加工、接合、仕	使い	日常の製	4品に興味	をもつ。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	栽培と私たちの   3. 栽培計画をたて					<ul><li>の方法を調べよう</li><li>6.製品の構想をま図に表そう。</li></ul>	とめ	製図や構きる。	想図を理	解し、製図で	
5	4. 健康な作物を育う			4	11						4
6	栽培と私たちの	生活 栽培への意欲・ 栽培技術を身に		4	12	<製品の製作> 1. 制作の準備をし。 2. けがきをしよう 3. 材料を切断しよう	よう		に必要な ことがで	道具を理解し、きる。	3
7	栽培と私たちの	生活 栽培への意欲・ 栽培技術を身に		3	<b>1</b>	4. 部品を正確に加まう		制作に応		を使い分ける	3
8				1	2	<ol> <li>組み立てよう</li> <li>製品の構想をまる図に表そう</li> <li>製品を長く使うた工夫をしよう</li> </ol>	とめ、	制作にあ作業する		度などを考え	4
	< 4. b+ bn >	御日コシーニナフナ									

<木材加工>

べよう

を考えよう

製品の設計

1. 身の回りの製品を調

2. つくってみたい製品

4 3

8. 仕上げ、塗装

9. オリジナル作品製図

制作への意欲・関心をもつ。

せるよう心がける。

による製図を行う。

作業を通して、日常生活へ活か

強い構造を用いて、第三角法

3

製品ができるまでの工程を理解

する。

_	教対	科	名 象	Ł	技術・家庭 中学1年	分 履		名能	L	家庭分野	単	位光光	数	l	
$\vdash$	Xil		- 家	① 宝					上 のÉ	必修  立に必要な衣食住に		業形		一斉 は縦を翌得せる	
	学到	習達 目	の 標							生活をよりよくしよ					
		価の観価方		② 思		現力…	・ワークシー	トな	どを	とに評価する。 もとに評価する。 ほり返りをもとに評価	iする。				
	学	習方	法	_	室での一斉授業や 里実習などの実習					理解する。  な態度を身につけて	いく。				
	教和	斗書・教を	才等	技術・	家庭 家庭分野	(東京	(書籍)						·····	MANUFACTION AND THE STATE OF TH	
	·				年	目				業計	画				
月		学 習 たしたち <i>0</i>	内生活の		学習の ・「生活の自立			時萎	月		容			りねらい	時数
4	B 1	食生活と自	立	7日	・「生活の日立 える。 ・自立するため る。 ・食事が果たす ・食生活を見直 づく。	の課題	を把握す	3	10	第3章 日常食の調理と 地域の食文化		・調理実する。	習の計	手順をまとめる。 画を立て、実習 省をし、評価す	4
		健康と良	土店			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u> </u>	<u> </u>						
5	ANN ANN ANN ANN ANN ANN ANN ANN ANN ANN				・栄養素および、内で食品によってという。大きないでは、大きないでは、大きないできたが、大きないできたが、大きないできたが、大きないできたが、大きないできたが、大きないできたが、大きないできたが、大きないできたが、大きないできたが、大きないできたが、大きないできたが、大きないできない。	とめる。 、含ま; に気づ	。 れる栄養 く。	4	11			自分の食 を考える ・自分や	生活を 。 家族の	る課題を把握し、 よりよくする方法 食生活を振り返 善する工夫をす	4
6					・6つの食品群 のめやすについ ・必要な栄養素 献立を考える。	て理解で	する。	4	12			・地域の土料理を		生かした食事や郷。	3
7					・生鮮食品と加 類、表示やマーク る。 ・食品添加物に で理解を深める。	クの意味 ついて3	床を理解す	3	1			・調理科 性質や特		を通して、食材の解する。	4
8					・加工食品の長所習を通して理解で		所を調べ学	1	2				を通し	方法を調べて実践 て、調理法の重要	4
9 備					・穀物や糖類など観察を通して理解			4		C 衣生活・住生活と 第2章 わたしたちの衣 <u>/</u>		に応じた	衣服の	きをまとめ、目的 着用や、個性を ・考える。	2

Γ	教	科 名	Π	外国語	科	<u> </u>	名	T	英語	単	位	数	6	
L	対	象		中学1年	履	修形	態	T	必修	授	業形	態	一斉	
									:聞いて話し手の意向	などを	理解でき	るように	こする。	
	学	習の	② 英記	語を話すことに慣	れ親し	み、初歩的	りな英	語を	:用いて自分の考えな	どを表	現するこ	とができ	きるようにする。	
		達目標	③ 英語	語を読むことに慣	れ親し	み、初歩的	うな英	語を	:読んで書き手の意向	などを	理解する	ことがつ	できるようにする。	
			④ 英語	語で書くことに慣	れ親し	み、初歩的	な英	語る	:用いて自分の考えな	どを文	章にする	ことがつ	できるようにする。	
									まく」「聞く」「話す	」こと	によるコ	ミュニク	アーションにおいて	活
		en deuro de la la la la la la la la la la la la la	:	できる技能を身に										
		F価の観点							いて、外国語の語彙や				よがら読んだり、語	順
	ì	評価方法							付けているか。(思					. 42-
				音の自京にのるメ ろうとしているか					L者に配慮しながら、 F)	土14时	に央韶を	用いて	コミューケーション	8
		<del>~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~</del>		習で新出単語の意		<del> </del>								
	:	学習方法							事項、語法を学習す	る。				
			~						ーディング等を繰り		う。			
				······································					TREASURE STAGE1					
	教和	斗書·教材等		副教材	オ NEW				1 文法問題集(Z会)		CROWN	1 (三省	'造)	
$\vdash$			<u></u>	年	F				業計	画	OILO III	* \	and and a second	
月	Γ	学習内邻	卒	学習の	) ta 1		-	月	学習内容	<u> </u>	当	些習 ♂	りねらい	時数
ŕ		Let's start!	-	・授業ガイダン		<del></del>	+	1	4 14 14			文(be動		
				・アルファベッ		の回りの畄					,.			
				語、あいさつ		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			Lesson 7		現在進行			1
4		Lesson 1		be動詞の文1	·		$+_{18}$		<ul><li>「今している」こ</li></ul>	とに		ま行形の 生行形の	文	
1		・自分の名前や	出身を	· I am (You are	e )~		1	10	2 C C DU 7 C /C /	、た		て/疑問		24
		説明する		• This(That) is					ずねたりする ・「今している」動	作し		多と進行		
		<ul><li>身のまわりの</li><li>について紹介</li></ul>		・否定文/疑問					「習慣的な動作」		Ju14-/1	۱۱	~	
		*に、20、6世別	9 50	a ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	~		-	1	別する	- '				1 1
		Lesson 2		be動詞の文2			-	$\vdash$	Lesson 8			司の過去	FÉ	+-1
		<ul><li>自分の家族や</li></ul>	身近な						・過去の出来事や経	験に			ン 去形 (規則動詞)	
5		人を紹介する	<i>71</i> ~ ~	· What is~?/					ついて話したり、			て/疑問:		1 1
J		・物の名前や特	徴を説	· Who is~?/Ac			24	l	ねたりする				文 去形(不規則動詞)	
		明する		・ 形容詞 (限定)		四米田(木)	44	11			MX 95	ガロリマン大四、	ムルク (イドA発見の301m)	24
				NOTE IN (BUIL)	11124 /	X ZE/II IZ/			Lesson 9		be動詞 Ø	温丰彩		1
	フ	Lesson 3		  一般動詞の文1					  ・過去の状態や、過	*! <i>:</i>		ラ過ムル 司の過去	<b>ボ</b> のサ	
	オニ	・自分の習慣や	好き嫌	・否定文/疑問	4-				していた動作につ		<ul> <li>過去道</li> </ul>		砂砂文	
	ッ	いについて説		· What do you…			-	_	伝える	- =r		ETINO 引法のit		$\vdash$
	ク	り、相手に尋	ねたり	・名詞の複数形	•				・時間や天気につい す	て話	- 1470171	1(20)10		
6	ス	│ する  ・複数ある人や	ものに	・冠詞					Lesson 10		未来を表	4 末 相		1
		ついて説明す	_	• These/Those				12	・これからの予定や				·用いた文	18
				・代名詞の目的	·女		24	l	れから起こること		-	ing toを [/疑問]		10
				1740 64 45 10 11 11	Ħ		44		いて伝える	.		?/Why		
-		Lesson 4		一般動詞の文2(	3 / 16/1-14	自数)	1		<ul><li>・相手に許可を求める</li><li>り、指示を伝えた</li></ul>			:/ wny… :用い文	•	
		・身近な人の日	常生活	・否定文/疑問プ		I- 9A. /		<u> </u>	る。はかも四んだ		· must/			$\vdash\vdash\vdash$
		について紹介	する	・頻度を表す副記					・方法や理由をたず	ねる	шиз (/	ша у		
7		・時や場所を尋	ねたり	· Where/When	r q		-		Lesson 11		There i:	s(ara)~	・のサ	
· I		答えたりする						1	・どこに何があるか、	- 1	• There	,	~~	18
		be動詞の文と一:	般動詞	まとめと演習			1		れくらいの量ある。			・疑問	<b>⊹</b>	'
		の文の違いを理	解して	こう この 日 図 日			18		明する。まのの思わりたり	- tata			× を表す表現	
		肯定文・否定文 立が使える	・疑問				1.0		<ul><li>ものの量を具体的は現する</li></ul>	二衣	外(生	ニータント	iii 300 / 300 504	
l		文が使える						<del></del>	Lesson 12		比較表現	1		H
8									iesson 12 ・2つのものを比べて	1		』 :用いたb	七載	
Ĭ.	Les	son 5		・所有代名詞			+		を説明する		•	を用いた		
- Annual Property of the Parket		rのまわりのもの	の持	• Whose					・複数のものを比べていた説明する	て違		を用いた		
$\dashv$	ţ	主や特徴をたず	ねる	<ul><li>How+形容詞?</li></ul>			6	2	いを説明する				と比較表現	24
ł		もさや高さなどに 「たずねる	つい	· Which									than B	
		、たすねる 「誰が~か」「ど	55							İ		the be		
		· ~か」をたずね					$\vdash$				IINO I	00	~-	
9	]_ac-	son 6		<ul><li>命令文(一般重</li></ul>	<b>折詞)</b>		-		演習		演習	***		$\vdash$
_		son o Í案内、相手にや	って	・否定命令文など					N H		1.内 日			
-	ŧ.	らいたいことを		・canを用いた文			24	3						18
	マ ・ 白			・canを用いた疑		否定文		٧						10
		分ができること  ないことを説明		しないで ハハ・/ 二発	四人:	J.L.A.							-	
備考				を引きませる。	ナルム	ハ内のフィ	لِـــا		るものもあるが、お	16.1.15	1-4-V4-#	で百かっ	レナス	
VHD 15	7								なものもめるか、私			けりひか	C 9 00	

本文には異文化理解や人間形成のための内容になっているものもあるが、ねらいは文法事項のみとする。 また、クラス分けを実施する場合、クラスに応じて授**業**進度・授業内容を調整する。

## 第2学年

教 科 名	国語	科目	名	$I^-$	国語	単	位	数	4	
対象	中学2年	履修形			必修			態	一斉	
学習の	① 中高一貫校の特色を									
到達目標	② 深い思考力・読解力						スト、検定	ミに活カ	ゝすことが出来る。	
	③ 自分の考えをまとめ ○ 知識・技能…定期考	<del></del>				0				
評価の観点	② 思考・判断・表現…					誣佈				
評価方法	③ 主体的学習に取り組					ni imao				
	① 様々な教材を用いた					を付け	<u>~~~~~~</u> る。			
学習方法	② 学校独自教材や、型	!にはまらない多角	的な	国語	へのアプローチ方法	で生徒の	の発想と積	資極性を	☆育てる。	
	③ 他者に自分の考えや	思いを、正しく分	かり	やす	く伝えることを目指っ	す取り	組みを行う	٥		
教科書·教材等	新しい国語2・3(東京	書籍) 中2徹底演	習テ	キス	ト(受験研究社) キ	ーワー	ドの卵(尚	文)	中学書写(学図)	
4X11	さくらさく古文単語(酒			底り	フーク(尚文) 自作		トなど			
	年	<u>間 授</u> )ねらい	<del></del>	1 127	業計	画	<u> </u>	য়য় ক		T
月 学習内 復習及び発展内容	谷 子 音 V 前年度の復習や		時数	月	学習内容	۲			) ね ら い 現を理解し、絵や	時数
	が「一人・シ」及目(	JUBEL 14EF			[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]				章の形で自分で表	
「鰹節 世界に誇る	伝統食」筆者の主張を的						現できる。	ように	する。	
4 「小さな労働者」		の形態や展開に違	19	10	古文の復習・基本		作品を通	I, Efri	動詞を学習する。	16
	いがあることを	<b>些胖りる。</b>	1 1 2	"						
					「万葉・古今・新古	兮」			が詠まれた背景や いて理解する。	
							1 円7日 ソノル)	IH KC D	· CAEAFY O.	
「哲学的思考のす	上め」 筆者の主張を的	確にとらえ、目的	†	<del>                                     </del>	復習及び発展内容				· . ·	$\dagger \dagger$
「メッセージをどう	聞くか」に応じて、文章									
「歴史の物差し」	いがあることを	理解する。			Cyal 1 22 1 24 - 11 - 11				um 11 1 - 3 22 4	
5			16	11	「清少納言と紫式部」	J			開の仕方を的確に 理解し、必要な情	16
複習及び発展内容							報を集め、			
					<u> </u>					
「少年の日の思い」		え、人物や情景を			「二つのアザミ」				や効果的な表現を	$\prod$
	描いた表現に着 化をとらえる。	目して、心情の変			「俳句の読み方、味:				う。また、作品を を学び、最終的に	
古文の復習・基本		⇒女復図1 BL#L			方」		は生徒同一	上で作品	品の相互評価を行	
6 白人の侵首・基本	作品を連し、用 詞を学ぶ。	言を復習し、助動	16	12					史に関する知識の え方も学ぶ。	12
「平家物語」		えて本文を繰り返					四上と、1	でい見り	<b>ん</b> 刀も子か。	
		を読み取り、当時								
T.VIII-AL.	の人々の心情を				Che Tist True and True					Ш
「漢詩」	0.0.0.0	方法を学習し、そ 人々の生活や物の			復習及び発展内容					
	考え方を理解す				  「絶滅の意味		文章の論理	単の展開	開の仕方を的確に	
_					「落語の秘密」		とらえ、内	内容を理	理解し、必要な情	
7			12	1			報を集め、	要約了	する。	12
復習及び発展内容			↓	$\sqcup$	十十四年期,其十		<b>ルロナス</b>	D1. :4	動詞を学習する。	$\dashv$
					古文の復習・基本		TFmで選し	ン、 明重	<b>奶調で子育する。</b>	
					「おくのほそ道」		優れた表現	見や文体	本の特徴に注意し	
8			4	2	「論語」				つい、現代にも通	16
			*	-			しる百人⊄	ソ夸えフ	<b>方を捉える。</b>	10
「『正しい』言葉は	は信じら 言語によって表	見された事象につ	H		「タウン誌の記事を打	<b>進敲</b>	表現力、伝	まえるブ	力を養う。最終的	+
れるか」	いて、様々な捉	え方や表現の可能			しよう」		には、ディ		ト等を通して、実	
「白川郷ー受け継が		の幅を広げる。ま アからの情報の読			「話し合いで問題を しよう」	質討	践する。		,	
9 掌造り一」	み方を考え、多	策な考え方を身に	16	3	~ 5 / 1					12
	付ける。					-				
				ł	復習及び発展内容	1				
備考 ・適宜、作文・	小論文指導を行う。	・適宜、書写の	受業	を行	う。					

	教 科 名	社会	科		名	I	歷史	単	位	数	4	
	対 象	中学2年		修形的			必修		業形		一斉	
	W ===	① 我が国の歴史の大										
	学習の	② 文献史料や資料を						る力を	養う。			
	到 達 目 標	③ 多民族の文化、生活						. L. LL.		ot. talk.a.	off to set X its late M	
$\vdash$		④ 自分の住んでいるは					<del></del>	を持ち	、文化やは	也域を	<b>愛する心を培う。</b>	
	評価の観点	① 知識・技能…定期	•					. ,	1.5 - TT feet			
	評 価 方 法	② 思考・判断・表現・									700 6-1	
<u> </u>		③ 主体的学習に取り組織		<del></del>		言、	定期考査、ワークシ	<u>-                                    </u>	課題提出作	勿など	で評価。	
		① 教科書記載事項を1			-							
	学 習 方 法	②授業で解説や補足記										
		③ ワーク等で復習する						recent				
-	****	<ul><li>④ 史料・資料を読ん7</li><li>新しい社会 歴史(東)</li></ul>		フノなとを.	將說	した	りすることを選して	、歴史	的事象のは	<b></b>	<b>糸をまとめる。</b>	
	教科書·教材等	ワーク歴史 I (エデュ		ナルマット	17	. <i>t</i> r \						
	秋竹首 秋竹寺	ワーク歴史Ⅱ(エデュ										
-		年	7 マコ			2)	業計	画				
月	学習内	······································			時数	B			学	羽 (	りねらい	時数
H	第1章 歴史へのと					7	第5章 開国と近代					
		絵画や史料の割					歩み		l .		換や、開国による	
		代の特色を把握	量する。		İ	ł	2 欧米の進出と日	本の開	1			
1	第2章 古代までの	)日本 人類の誕生から	古代文	明の発展ま	10	10	læ			•		1,0
1 4	1	引と宗教 での出来事につ			12	1,0	3 明治維新		明治新政	府によ	る各種改革の特徴	16
	のおこり	どを活用しなか	いら理解'	する。					や、議会	政治創	始への過程、条約	
									改正交涉	につい	て理解する。	
<u>_</u>	笠の女 ナルナック	DI LEATER	det -≱. Fr	4.201#47.46	ļ	<u> </u>	At r do BRETT CA	H 4.0	E 3# E	/医护路区 At.	4 13 1	4
	1	)日本 大陸の文物や制 Eと大陸 に取り入れなか					第5章 開国と近代	日本の			で埋し、日本の国 、近代産業の発展、	
	との交流	治が整えられた					歩み 4 日清・日露戦争	上诉件				
	,	ルと東ア 天皇中心から摂					産業	C XII V	又山のル	71X C 1T	1秋で 生作する。	
5	ジア世界	た政治的経緯や			16	11	まとめの活動					16
		から国風化へと			1	Ì	第6章 二度の世界	大戦と	第一次世	界大戦	前後の国際情勢及	
		程を理解する。			l		日本		1		戦後の国際平和・	
L							1 第一次世界大戦と					
	3 古代国家の歩み	と東ア 古代文明の特徴					第6章 二度の世界	大戦と	識字率向	上や護	憲運動による国民	$\prod$
	ジア世界	の変化、律令国					日本				高まりと、職種が	1 1
	まとめの活動	化を把握し、理					2 大正デモクラシ	ーの時				
6	第3章 中世の日本	1		民豕政権に	16	12	代。#用现榜人口士	σ de lei			ついて理解する。	12
	1 武士の政権の成	立 至る過程を理解 すきと武 武家政権の成立		ジア諸国の			3 世界恐慌と日本 侵略	の中国			混乱と国内におけ 生について理解す	
	士の政治の展開	関与、それらを					IZ WIT		る。	ASS V J JC	主にリバリを押す	1 1
	工。以以旧。从内	特徴を理解する							<b>~</b> °			ii
	まとめの活動	摂関政治と武家		兼倉文化と			第6章 二度の世界	大戦と	軍部の台	頭から	太平洋戦争に至る	T
		室町文化の特徴	と相違し	こついて理			日本				世界大戦が世界全	
		解を深める。					4 第二次世界大戦					
7	第4章 近世の日本				12	1	まとめの活動				本に与えた影響を	12
Ι΄	ł .	出会いパ世界の拡大と		アとの交易	``		第7章 現代の日本					
	と天下統一	の様子を理解す		to the property			5				の建設が進められ、	
		織豊政権による					1 戦後日本の出発			展して	いく過程を理解す	
<u> </u>	第4章 近世の日本	化の展開の過程 江戸幕府の支配			Щ		2 冷戦と日本の発展		る。	T the	ロナがな出っする	$\vdash$
	1	江戸幕府の支配  と対外   初期の対外政策		1			第7章 現代の日本				日本か発展できた 会における日本の	
	政策	ころファロカラロンスコフト以来	.,	、仁工八千 ナ 公。			っ 3 新たな時代の日:					
_	-24						界	, 144	ス山れこう		чт Э ° <b>9</b> / 0	
8				:	4	2	まとめの活動	ļ	戦後の諸	改革が	日本に与えた影響	16
									や、石油	危機が	日本に与えた影響	
									を説明し	、理解	を深める。	
												Ш
	第4章 近世の日本	1		美・文化・			●歴史の復習・論述				把握し、理解を深	
		府政治を通の特徴を理		A 677 Lt							歴史総合の基礎と	
9	の動き・まとめの活 第5章 開国と近代	動 江戸幕府が改革日本の ヨーロッパ社会			16	، ا		1			活動を通し、歴史	,,
"	男 5 早	影響について理			10	٥			ロソロ 米争り	<b>ル囚米</b>	関係を理解する。	12
	- '	代化の欧米諸国による										
	進展	市民革命のかか										
I;tt:	考	1.14.50 ± kh 42.10.10.	- /	/1L / 3/0		1						

	教	科	名		数学	科	目	名		代数	単	位 数	4	
_	対	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	象		中学2年	履	修形	態	丄	必修	授	業形態	一斉	
	学 到 追	置 目	の 標	① りす ② 数年 ② でを	トる力を育てる。 その事象から(見通) 5	<b>ン</b> をもつ	て)問題を見	しいたり	<b>ン押</b> 手で	こ表現・処理し、問題解 せしたり、解決の適程や 説明 し伝え合う力を	"結果を張	長り返って 統合的、		
$\vdash$		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			印識・技能」定期				) Y ,	説明しばえ古り力を	(171) (3)	2		
	評価	の観	点		思考・判断・表現				143	よる評価				
	評価	五 方	法	3 [3	主体的に学習に取	なり組む	態度」提出	出物や	授業	中の取り組みによる	評価			
_		·····			②が7割程度、③:					**の米中以のみまく	)ell=110	1 (4 33) - n+ 86 + .2	1. Lung vivi dectual en est \$2	£t.
				(1) 教皇		ととし、	必すす省の	ヒする	。按	業の進度はやや速く	、演省	と復省に時間をス	いけ既智範囲の定着	î C
	学習	才 方	法	② 放電	果後に演習問題、	質問な	どに応じる	5。習	熟が	不十分の場合は放課	後補習	をする。個別の数	<b>&amp;削を行う。</b>	
				i						いのやり直しをして				
	教科書	聾・教材	等					問題集	类	女学2 代数編 標準	生 (数研	出版)		
<u></u>				未来へ	ひろがる 数学3 年			受		** = \$1	ida			
月	T	学習	内:	 容	学習の	<u>間</u> )ね			月	業 計 学習内 3		学習 0	りねらい	時数
۲		章式の		·	単項式と多項式				Ť	2. 2次方程式の利		2次方程式を用	いて実際の問題を	1
	1.	多項式の	計算		算ができる。		d I foto					1	体的な場面で活用	
					1次式どうしの公式を用いた式	,		- 1				することができ	る。	
4					公式を用いた式	V.J.胶(州)	いくらるま	12	10					16
-	2 E	因数分解			因数分解の意味	を理解	して複雑な	.	├	第4章 関数 y=ax	2	事免の由には関	数y=ax²としてと	+
		-1 3V 74 11t			因数分解までで			`		1. 関数y=ax <sup>2</sup>			めy→dd こしてこ があることを知り、	
										-		表、式、グラフ	を相互に関連付け	
5		h = = 1 64	~ ~~	1		A) Am. 3	Colores a com	16	11	2. 関数 <b>y=ax</b> <sup>2</sup> のグ	ラフ	て理解する。		16
	[3. ₮	式の計算	の利用	1	式の展開や因数 数量の関係や図					3. 関数y=ax <sup>2</sup> の値	の水ル			
					説明することが			``		3. 突数y~ax ジ胆	の変化			
								$\bot$						
		章 平方    下方根    下方根	根	:	平方根という新 り、その必要性			•		4. 関数y=ax <sup>2</sup> の利	用			
	1. 7	F)3 11X			り、ての必要性	C 息 外 9	と理解する	°						
6	2. 村	限号を含	む式の	計算	根号を含む式の	計算や変	変形ができ	16	12					12
ľ					るようになる。			10	12					1"
<b>.</b>														
	3. ≉	再理数と	無理数	(	有理数と無理数	について	て理解する	۰		5. いろいろな関数	:		になる関数などに	
	4 3	子似値と	有効粉	·字	近似値と誤差、	有効粉~	をについて					ついて値の変化	を調べたりする。	
	- X	上以肥仁	口 29.1 数	, ,	理解する。	口加软	, 1c >v · C	-						
7								12	1					12
$\vdash$								-		第5章 確率と標本	調査	一部の資料をも	とに全体を推定す	H
										4. 標本調査		る標本調査に関	心をもち、その意	
											İ		ることができるよ	
8	問題演	133						4	2				な題材について考 こついて理解を深	16
	THIRDS (S	<b>4</b> 🖽										祭し、保本調宜の める。	こういて生産化体	
$\vdash \dashv$	供っき	F 0 1/4			りが生和学のツ	⊞\/- 1. ≠	その上 エマド	+		·			······································	Ш
		2 2次 2次方程:		1	2次方程式の必要では 2次方程式の必要である。									
		, juda	- 747		いろいろな方法		-					Fre BB on ⇒ 1 · 1	ا. ا ۲۱۲ جلوز میں ا	
9					くことができる。			16	3	まとめ	ì	一年間のまとめ、 い、基礎・基本の		12
												を理解する。	and provided to specify the provided	
				j										
					<del>1875 - 1881 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1884 - 1</del>									
備	考	· <u> </u>		_								<del></del> ,		-

	<u></u> 教 科 名		数学	分 蟹	图 名	<del>-</del> 1		幾何	単	位	数	3	
_	対 象		中学2年	履修	, ,,,			必修		業形		一斉	<del></del>
	学 習 の 到 達 目 標	②数 ③数	学的な見方や考え	型の仕方を習 方のよさを	得し、事 知り、そ	象を	2数	法則を理解する。 理的に考察する能力 進んで活動する態度					
	評価の観点 評価 方法	2 ( 3 ( 1	②が7割程度、③	l」小テスト はり組む態度 が3割程度、1	や定期テ 」提出物 10段階評	や授価	受業	よる評価 中の取り組みによる 業の進度はやや速く		レ治羽に	時間 たっ	がは既滋衆田の卒業	s to
	学 習 方 法	② 放	る。 課後に演習問題、	質問などには	応じる。	習熟	きが	来の速度はやや速く 不十分の場合は放課 いのやり直しをして	<b>段補習</b>	をする。	個別の額	<b>私削を行う。</b>	। १८
	教科書・教材等	体系数	<del> </del>	研出版)、@ 3 (啓林館	本系問題			2 幾何編 標準(	数研出用		· Acid	, v <sub>0</sub>	
月	学習内	1 宏		間 )ねら レ	授	時数	В	業計 学習内:	<u>画</u>	学	翌の	りねらい	時数
//	第1章 図形と 1. 相似な図形 2. 三角形の相	相似	相似な図形につ できるようにす 三角形の相似条	いての性質だる。 件に関心を持	が理解	- 4 3 1	/4	第3章 円 1.外心と垂心 2.円周角	<u> </u>	円と弦、	三角形 基本的	と外接円の関係を な定理を使いこな	
4			ろな問題で考え うにする。	ることができ	きるよ	9	10			周角と中	心角に 目周角の	きちんと覚え、円 ついての問題で練 定理を理解し使え	12
5	3. 平行線と線 4. 中点連結定	-	相似な図形の性する辺の長さやることができることができる形の中点連結定に生かすことが	角の大きさを ようにする。 理を、図形⊄	を求め三角の論証	12		3. 円に内接する匹4. 円の接線 5. 接線と弦のつく	. ,	に理解しれる四角	たうえ 形につ	角形の定義を正確 で、頻繁に用いら いて考える。 ての性質を利用し	12
	5. 相似な図形	D.	る。 相似な図形の面	積比と体積均	七を理			6. 方べきの定理		て様々な ようにす	問題を	解くことができる理解して、辺の長	
6	面積比,体(演習問題)		解していろいろ ができるように			12	12	7. 2つの円		さを求め できるよ 2つの円	たり、 うにする し、 いろ	図形の性質を証明	9
	第2章 線分の!		重心について理	 解し、証明が	が出来		- 1	第4章 三平方の定	理			理解し、直角三角	
7	1. 三角形の重/ 2. 線分の比とī		るようにする。 た事柄を利用し ができるように	て問題を解く	(28	9	-	<ol> <li>三平方の定理</li> <li>三平方の定理と 平面</li> </ol>		直角三角 演習をす に利用で	形の性 る。三 きない	求めたり、特別な 質を利用した問題 平方の定理を図形 か、ここまでで	9
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平行線と線分の を平行線の性質 件を用いて考察 ようにする。	や三角形の相	目似条					付けて解 えて、使	くこと: えるよ	平方の定理を結び ができないかを考 うにする。	
	問題演習							3. 三平方の定理と 空間		それを三	平方の のかを	ての確認を行い、 定理とどう結び付 考えて問題を解け	16
8						3		問題演習					12
9	3. チェバの定5 4. メネラウスの	-	三角形の面積と 利用して定理の できるようにす。 定理を利用して にする。	証明を考えて る。またこれ	理解しらよう	12		数学A 第1章 場合の 第1節 場合の数 1.集合の要素の個	確率	集合、共	通部分 と記号	合の表し方、部分 と和集合、補集合 の意味を理解し活 する。	9

	教 科 名	理科	科目	名	T	中学理科	単	位	数	5	
	対 象	中学2年	履修形			必修		業 形		一斉	
	学習の	① 自然の事物・現象					技能を	身に付け	る。		
	到達目標	② 観察, 実験などを									
	- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	③ 自然の事物・現象									
	評価の観点	① 知識・技能・・・					その内	容で評価			
	評価 方法	② 思考・判断・表現									
<u>_</u>		③ 主体的に学習に取					組み状	況で評価			
		① 授業の板書内容を									
	学習方法	② 授業時に行う演習				こる。					
$\vdash$		③ 自ら進んで問題演習			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					······································	
	教科書·教材等	未来へひろがるサイエ					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	•			
<u> </u>		中学必修テキスト2(中			必修			·)		. /	
-	<u> </u>	年 年 24 79		受	J m	業計	画	327	चंच -		
月	学 習 内 3 エネルギー編②	子省	のねらい	時姿	月	学習内容	ř	子	習の	<u> </u>	時数
	・電流の性質	・回敗た作って	「電流の流れ方につ			地球を取り巻く大	気の	. ea l≻ tin	わる圧	力を学ぶ。	
	电加切压员	いて学ぶ。	、电 <i>加以20</i> 14027(C.1.	´						カモチズ。 法を学ぶ。	
			の関係について学	ź		<ul><li>・大気由の水の恋化</li></ul>		・雲ので			
4		S.	> 120 0000 > 1 0 1	15	10	・天気の変化と大気		i .		取り方を学ぶ。	20
		1 .	熱量について学る	3.				1		天気の変化のよう	
	・電流の正体	・静電気による	力について学ぶ。			・大気の動きと		すを学			
		・電気の性質に				日本	の四季	・日本の	四季の	特徴を学ぶ。	
	・電流と磁界		磁界について学る	° I	Γ	1					
			ら受ける力につい	,		1					1 1
		て学ぶ。	- an att laborate the state of	1							
5		1	で電流を発生させ	20	11	生命編③				······	20
		発電機の仕組	けな子か。			生命編③  ・生物のふえ方と成	E.	. 4mr.ksf- #f-	猫し方	性生殖について学	
				1		生物のぶんがと风	1X	ぶ。	旭仁伯	1生生地に"フバー(子	
						:		1	改長と	細胞分裂を関連付	11
				-	$\vdash$	1		けて学		他心 人 衣 这	H
						・遺伝の規則性と遺	伝子		-	て形質が親から子	11
										を学ぶ。	
6				00	10			・進化に	ついて	学ぶ。	1, 1
0				20	12						15
-	haff 何(O			+-	_	Lib. reb 600 (A)					+
	物質編② ・物質の成り立ち	- 出職工夫工!	リウムを加熱して			地球編③ ・地球から宇宙へ		· 十阳 小	生物  ナー	₩ <b>&gt;</b> *	
	129 貝 27 八 火 ソ ユ り		リリムを加黙して それを確かめる方	1		地帯かり丁田へ		・太陽の		チャ。 系外の宇宙につい	
		法を学ぶ。	これでは 世界ないのどの ノバ					ス陽ボ		WYLAY I THE OV.	
7			して発生した気体	15	1	・太陽と恒星の動き			-	動きについて学ぶ。	15
			める方法を学ぶ。							動きについて学ぶ。	1 1
	・物質の表し方		ている原子、分子					·星の1	日の動	きについて学ぶ。	
		などについて						·星の1	年の動	きについて学ぶ。	
		・化学反応式の				・月と金星の動きと	見え方	・月の満	ち欠けに	こついて学ぶ。	$\square$
	・さまざまな化学変	化 ・鉄と硫黄の混	合物を加熱し別の					・金星の	動きを	学ぶ。	
		物質ができる					1				
8		・酸化・還元に		5	2		l				20
	11、204. 村下 11、1、北上 15年 ~		の出入りを学ぶ。		_						
	・化学変化と物質の		後で物質全体の質								
		量はどうなる	かを子か。				l				
$\vdash\vdash$				H							H
							l				
9				20	3						15
					.						
니		<u> </u>	WT	$\perp \perp$						·	
備	若										

教 科 名	音楽	科 目 名	音楽	単 位 数	1
対 象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
	1		、音や音楽への興味・関	心を高め、音楽によって	て生活を明るく豊かな
学習の	┃ ものにし、生涯にお	たって音楽に親しんでい	いく態度を育てる。		
到達目標	② 楽曲構成の豊かさや	美しさを感じ取り、表現	見の技能を伸ばし、創造	的に表現する能力を高め	める。
	③ 音楽に対する総合的	な理解を深め、幅広く	鑑賞する能力を高める。		
	① 自己のイメージをも	ち、感性を働かし、創	造的で個性豊かに技能を	身に付けている。	
評価の観点 評価方法	② 音楽文化に対する総	合的な理解を深め、その	のよさや美しさを個性豊	かに味わう。	
計 1叫 万 伝	③ 音楽文化を愛好・尊	「重し、個性豊かに意欲的	的・主体的に音楽活動を	行い、その喜びを味わる	ð.
	① 腹式呼吸による豊か	で自然な発声を身につけ	ける。		
24 33 <del>1-</del> 34	② ギターの基本演奏を	·学ぶ。			
学習方法	③ 楽典の基礎を学び、	視唱(奏)力を付ける。			
	④ 作品の時代背景、曲	のスタイル、他の芸術。	とのかかわりを理解し、	芸術全体のなかの音楽に	こついて学ぶ。
教 科 書	中学生の音楽2・3上(教	育芸術社)、中学生の器	景楽(教育芸術社)ほか		
教 材 等					
	年	間 授	業計	画	

_		生 間 授			莱 計 画		
月	学習内容	学習のねらい	時数	月		学習のねらい	時数
	「浜辺の歌」	・腹式呼吸を基本とした豊かな発	T	T	「アニーローリー」	・サミングを覚え、無理なく美し	
1	「荒城の月」	声を身に付ける。	1		「威風堂々」	い高音域をだせるようにする。	1
1	「サンタ ルチア」	・基本的な発声に加え、混声合唱	1	1		1,1,2,1,2,1,2,0,0	1
		としての響きの美しさを聴き合	,		♥ 0 日の内容の継続		١,
4		1	3	10	* 9月の内容の継続		4
1	1	い、のびのびと楽しく表現出来	1		ł		
1		るようになる。	ŀ		1		] ,
1			1		į		
			1	İ	Į		
				1	オペラ	・鑑賞を行う。	
1			1	l	ポピュラー音楽	・西洋音楽に偏ることなく、幅広	
1				l	1		
1					文楽	い音楽観を身に付ける。	
5			1	11	歌舞伎		
ľ	「エーデルワイス」	・ギターによる独奏・合奏を行う。	4	1.	世界の諸民族の音楽		4
	「さくら さくら」	・1年次に身に付けた技術を伸張	1				
	「メヌエット」	する。また、コードによる伴奏	1				
	Am, E7, C, G7=-ド	を加え、合奏する。	1				
-	1, 2 1 , 0 , 0 , -	2,30,700 11 90 70 8	$\vdash$	<del> </del>			Н
	]						
			1				
6			4	,,			3
10				12			
1							
-	4				5. W III o 18. W 1	To the Hills - 1 or March 1 Co. X	
					和栄츎の種類と歴史を字ぶ	・和楽器による演奏を行う。	
						・わが国の伝統的な音楽文化の良	
						さに気づき、尊重する心を育て	ļ
١						る。	3
7			3	1			
1	]		ľ				
1							
				1			
L							
	「アニーローリー」	・Aリコーダーによる独奏・合奏			「夢の世界を」	・混声合唱の調和を目指す2~3	
	「威風堂々」	を行う。			「夏の日の贈り物」	部合唱を行う。	
		・サミングを覚え、無理なく美し			「翼をください」	· · · · · · · · · · · · · · ·	
8		い高音域をだせるようにする。	,	2	「卒業式関連唱歌」		,
١		・国は日外にたらがなりにする。		-	「一大人人人」		4
	The state of the s						
	]						$oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}}}}}$
1							
							- 1
9			4	3			3
1			1	٠			١
İ							- 1
<u></u>							

備考:曲目は変更される場合があります

	教 科 名	美術	科 目	名	Π	美術	単	位	数	1	
	対 象	中学2年	履修形		L	必修		業形		一斉	
	学 習 の 到 達 目 標	① 表現及び鑑賞の幅広 ② 感性を豊かにし、美					ハ美術	を愛好す	る心情で	を育てる。	
<b> </b>		② 感性を量がにし、美					うとす	る。(美術	<b>行への関</b>	心・意欲・態度)	<del></del>
	評価の観点   評価 方法	② 感性や想像力を働かせて									
<u> </u>	計 画 刀 法	③ 感性や造形感覚などを働か		を身に付け	、意	図に応じて表現方法などを創	意工夫	し創造的に表	<b></b> もしている	。(創造的な技能)	
	学 習 方 法	個人制作と、一斉授	業。								
<u> </u>	tel est de tel 1 tels	  美術2・3(上) (日文)	、美術資料(	秀学社)				<del></del>	<del></del>		
	数1 私1 至 · 数1 末 7 至 1	水彩用具、スケッチブッ									
	V 75 ( -	年	間	授	·	業計	画	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	-1-1		
月	学 習 内 3 観察し、スケッチす		) ねらい 目慣れた 風暑 <i>の</i>		月	学習内容 木工芸の作品を	<u> </u>			<u>り ね ら い</u> ·生かして、生活に	時数
İ	既余し、ハソフノリ	いがけないよさ				制作する。				えるものをつく	
		し、表現する。				* 9月の内容の継続		る。			
4				3	10						4
					_	とスキレの白ャナ		にきたい	, = 1. ch	訴えたいことを工	-
						ふるさとの良さを ポスターに表現する。	3	大しなか			
		j					-				
5				4	11						4
		history and the North	<del>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</del>					İ			
	モダンテクニックを 用いて表現する。	材料の特性を生 夫して、独自の									
	mv′し私先りの。	大して、独日の	四介で刷起りる	ه د							
6				1	12						3
U				4	14						
						鑑賞する。				ヨーロッパ美術を 、それぞれの影響	
								売員 りる や独自性			
7				3	,						
(				3	1						3
											H
8				1	2						4
											<b>T</b>
	木工芸の作品を	手作りの良さを	よかして 生汗	1							H
	和工芸の作品を 制作する。	潤いや彩りを与:		'~							
	-	<b>ప</b> 。									
9				4	3						3
,,,,			<del></del>			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					Ш
備	***										

L	教	科	名鱼		保健体育	分屋		名		保健体育	単	位数	3	
-	対	<u>.</u>	象		中学2年	履	修形的	態		必修	授	業形態	一斉	
	学 到	習達 目	の 標	運動		能力を	育てるとと			≧についての理解と運 ₹の保持増進のための				
		価の額価 方		② 各類	競技の技能を実技	テスト	によって総	合的	に割					
<u> </u>	H !	(III) / J	124			振り返	り、努力・	工夫	した	ことを思考・判断と	して総	合的に評価する	) <sub>0</sub>	
	学	習方	法		□行動 差的・合理的な運 斗書・資料を用い	•	践							
	教和	科書·教林	才等	必要に	本じて視聴覚教 にはなう (大日本)	ł								
	<del></del>				年	間				業計	画			
月		学 営 づくり運動	内多	容	学 習 σ 体を動かす楽			時数	月	学習内容	<u> </u>		の ね ら い 楽しさや喜びを味わ	時数
4	*:	体育理論動やスポー		≦び方	味わい、体力を た運動を身につ ことができる。 運動やスポー どについて理解 る。	高め、E け、組み ツの意義	目的に適し み合わせる	9	10			い、基本動作- きるようにする 相手の動き ち基本となる	や基本となる技がで	12
-	陸	上競技	·		。 記録の向上や びを味わい、基			<u> </u>		器械運動(マット/買	兆び箱)		楽しさや喜びを味わ よりよくできるよう	1 1
5					の良い動きを身り 積極的に、ル るうととうとうとうとうと 果た気を配ること	組むとました 分担し	はに、勝敗マナーを守 ンた役割を 連康・安全	12	11			系の基本的な力 と、条件を変え	では、回転系や巧技 支を滑らかに行うこ えた技で、発展技を れらを組み合わせる	12
					特性や成り立い方、関連して、 い方、関連して、 理解し、取り組 る。	高まる体	本力などを					回転系の基本的	では、切り返し系や 的な技を滑らかに行 を変えた技、発展技	$\vdash$
6								12	12	※傷害の防止		傷害の防止/ ることができる	こついて理解を深め る。	9
7	У.	フトボール			勝敗を競う楽い、基本的な技に た動きでゲーム。 ベースボール! バット操作と走 ル操作と定位置 よって攻防を展[	能や仲間が展開では、型での守備での守備	間と連携し できる。 基本的な な撃、ボー	9	1	バレーボール		い、基本的な打 た動きでゲーム ネット型でに 操作と定位置に	終しさや喜びを味わ 支能や仲間と連携し ムが展開できる。 は、ボールや用具の こ戻るなどの動きに 場所をめぐる攻防を	9
8	<b>※</b> 6	建康と環境	Ž.		健康と環境にる。	ついて理	理解でき	3	2	卓球 ダンス(約4時間)		踊ったりする第	涌ったりみんなで 巻しさや喜びを味わ ととらえた表現や踊 だができる。	
9	水衫	永(約2時	辞間)		記録の向上や娘びを味わい、泳えとができるよう。	去を身に		12	3					9
備	考	***************************************												Ш

/m; · · J

Γ	教 科 名 技	で術・家庭 分	野 名		<u> </u>	技術分野	単	位	数	1	<del>~~~</del>
	対 象 「	中学2年 履 億	多 形 態			必修	授	業 形	態	一斉	
	学 習 の ② 生活 到 達 目 標 題を	舌と技術についての基礎的 舌や社会の中から問題を見 と解決する力を養う。	いだして調	題	を設	定し、解決策を構想し	/、実路	桟を評価・	改善し、表明	見するなど、	課
	評価の観点 評価方法 ②知識	のよい生活の実現や持続可 心・意欲・態度・・・授業 哉・理解・・・ノート、発 見・思考・判断・・・授業	態度、作品表、レポー	提   -ト	出物	などで評価		しようとす	る実践的な関	震度を養う。	
_	字智万法  利用	品の製作・完成を通して学 用して知識と技術を習得す 家庭 技術分野 (教育図	る。		習や	作業を中心とする。ま 	た、著	教科書だけ	ではなくIC	T機器など	`&
	教科書·教材等	年 間	授	.)		業計	画				
月	学習内容	学習のねら		時数	Ħ	<del></del>	tent	学	習のね	6 11	時数
4	<情報> 情報とわたしたちの生活 1. コンピュータのしくみ と基本操作	情報の検索など、パソコ、し、情報収集能力をつける	ンを活用	3	10	本名   本名   本名   本名   本名   本名   本名   本名		電気につい	いて興味・関 て、実際に制	心を持つ。	4
5	<ol> <li>コンピュータの利用</li> <li>情報通信ネットワークの利用</li> <li>マルチメディアの活用</li> </ol>	電気について興味・関心を計画を立て、実際に制作・ うにする。		4	11	<電気> 制作・発表 ラジオ制作 発電のしくみ 電気部品について			ハて興味・関	,	4
6	5. プログラミングと計測 制御 6. 情報社会と自己責任			4	19	<電気> 制作・発表 ラジオ制作 発電のしくみ 電気部品について			、て興味・関クログラス 大大学 (大大学) で、実際に制作		3
7	電気と私たちの生活 1. 電気のしくみを調べ	電気について興味・関心を 計画を立て、実際に制作で うにする。		3		<情報> パワーポイントでスラ 作成をする 表計算のシートを作成	イド	パワーポイ インターネ エクセルを	ドットを利用~	する。 する。	CC
8	制作	電気について興味・関心を 計画を立て、実際に制作で うにする。		1	2	プログラミングについ  1. BASICの命令  2. 計算プログラム  3. グラフィック機能			ミング言語 E ログラミングが		4
9	制作・発表 ラジオ制作	電気について興味・関心を 計画を立て、実際に制作で うにする。	できるよ	4		<ul><li>4. 絵を描くプログラ</li><li>5. ゲームを作ってみ</li></ul>	ムようし	ふれるよう scratchに	よるプログラ	ミング	3

	教 科 名	技術・家庭	分 野 名	<u>z</u>	T	家庭分野	単	位 数	1	
	対 象	中学2年	履修形態			必修		業 形態	一斉	
	学習の無	① 実践的・体験的な学								
-	到達目標	<ul><li>② 家庭の機能について</li><li>① 知識・技能…実習へ</li></ul>							才につける。	
İ	評価の観点	<ul><li>② 思考力・判断力・表</li></ul>					C (C pt	置する。		
	評 価 方 法	③ 主体的学習に取り組		_	-		トなど	をもとに評価する	Ď.	
Γ	学習方法	① 教室での一斉授業や	、実験を通して内容	容を	理解	する。				
_	T 1 7 14	② 被服実習などの実習		で実	践的	Jな態度を身につけて	いく。	Waste White Construction and a second and a		
	教科書·教材等	『技術・家庭 家庭分野 基礎縫いクラッチバッ		١						
$\vdash$	**	基礎機いクラッテハッ	間授			業計	画			
月	学習内容		つねらい		月			学習の	つねらい	時数
厂	わたしたちの生活		」とは何かを		Ť	第3章 生活を豊か		・被服のリメイ	クを通して、環境	
		考える。 ・自立するため	の課題を	İ		る工夫		にやさしい衣生 る。	活について理解す	
		把握する。	- Portal C							
4		と自立 ・手入れや補修		3	10			・生地の特性に 工ができる。	合わせた縫製や加	4
	第2章 わたしたち 活	の衣生し、衣服材料に	応じた方法を知			<u> </u>		工~~ ( 6 2)。		
	伯	る。		l						
<del> </del>	第3章 生活を豊か	にする・衣服の基本的	な構成を理解す	-	-					$\vdash$
	工夫	る。	,							
		・衣服の製作の	手順を知り、計画							
5		・衣服の製作に	必要な材料や用具	4	11					$ _4 $
		を準備し、布製る。	品の製作ができ							
		, S			ĺ					
										Ш
		・衣服の製作に	必要な材料や用具 早の制作ができ			第1章 わたしたちの 活	住生	・住まいの役割	について考える。	
		る。	111 -> 36 ILW- C.C.			114		・健康で心地よ	く住むための室内	
		All and the state of the state			10				家庭内の事故とそ 知り、改善の方法	
6				4	12			を考える。	加り、以番の方伝	3
									:	
Г			必要な材料や用具						く住むためにでき	H
		を準備し、布製成	品の製作ができ					ることを考える。	,	
		300	ļ						屋作りの立体模型	
7				3	1			造りを通し、住 考える。	まい作りの意義を	3
				1				与える。		
				İ						
		when the state of	V mr 1. Library et en er					H. Serie O. S. France		Ш
		・衣服の製作に	必要な材料や用具 品の製作ができ				l		屋作りの立体模型 まい作りの意義を	
		る。						考える。		
8				3	2		I		į	3
				١ ١	-					
							İ			
			必要な材料や用具	$\exists$		D 身近な消費生活と			要な物資やサービ	$\neg$
		を準備し、布製品	6の製作ができ			境 第1章 わたしたちの		スの選択・購入る。	・活用について知	
		<i>•</i>			j	生活		・消費者を取りる	巻く問題から消費	
9				4	3		ŀ	者の権利と保護を	と知る。	3
			ĺ							
					l		l			

L	教	科	名		外国語	科		名		英語	単	位	数	7	
_	対		象	ļ	中学2年			焦 サ	→ ×	必修	授	業形		一斉	
	224	되되	<i>T</i>	_						:聞いて話し手の意向: :用いて自分の考えな:					
	学 到 達	習	の 標	_						:用いく日分の考えな: :読んで書き手の意向:					
	上 月	_ 14	1275							:肌んで書き子の息向 :用いて自分の考えな。					
$\vdash$										し、その背景にある文					
	評価									的な知識技能を活用					. 1 2
1	評価	万	法							(語活動を行い、学習)					
1					習で新出単語の意					<del></del>					
	₩ w	方	ù4-	_						等項、語法を学習する	る。				
	学習	カ	広	③ 本文	文の内容を理解し	た上で	、一斉音読	やべ	アリ	ーディング等を繰り	返し行	Ď.			
				④ 演習	習を通して、学習	事項の	定着を図る	5							
	教科書	書・数ポ	rae I		NEW TREASUR										
_	9ATT F	= TXY.	1 75	副教材					€(Z:	会)、NEW CROWN 2		堂)、退	<b>慰芙</b> 単	語入門編(Z会)	)
<u>_</u>	т	रुर अन		<del></del>	年	間			T =-	業計	画		<u> , বর</u>		
月	<del></del>		内?	<u> </u>	学習の			時数	月	学習内容	<b>:</b>		空 省 0	りねらい	時数
	Lesso		ат ш≁	-1 +- m	助動詞表現/文 ・Shall I~?/					Lesson 7 誰かにされたことを	表理	受動態 ・受動態	能の寸		
	制酸しする	ノにり耳	・レ山を	. レたり	· Snall l~!/	onall	wc -:			する	ベブ	2 417.1		文/by以外の前置	
.					・文型SV / SVC	/ svo		21				詞	い、ヘンンとは)	ヘノのかハトット的国	1 1
4								-	10			· SV00/	SVOCの多	受動態	28
								_					27		<b>↓</b>
<u></u>	Lesson		2 =		不定詞	<b>7</b> * €+> ≠⇔			<u> </u>	Lesson 8	i i			詞/再帰代名詞	$\vdash$
	,	)目的や )て表明		便い道	・名詞的用法の ・副詞的用法の					さまざまな名詞を用	いる	・名詞 <i>(</i> ・不定(			
	1	くなり	しょう		・副詞的用法の・形容詞的用法		ត <u>ា</u>					<ul><li>・不足1</li><li>・再帰f</li></ul>			
					175-FL BAH 3111 (72)	- / 1. VE II	**	28				L.3. Adv. 3	47H BM		
5	1							1	11						28
								1							]
L	Lesson	-	=1		副詞節を導く接続			<u> </u>	<u> </u>	Lesson 9	1			による修飾	
	又が表   条件	す事件 理由を	yについ ·添えて	、時や	・命令文and / c ・接続詞when	or				名詞をよりくわしく   する	況明		多飾と後 N形容詞		
	る	·	. 1211/25	~ ~ / /	・接続詞 if , :	き会 山部	命歩た老士			, w		万间0	)形容詞	нуліс	
					* 接続詞 11 , 1 接続詞	平田 人時	四少位红生								21
6								28	12						-
										Lesson 10		関係代名	5詞	, " 1411 , , , 3 , , , , , , , , , , , , , , ,	7
	<u></u>									ものや人の特徴や様子			)関係代		
<u> </u>	Lesson		, , ~		名詞節を導く接続	売詞/ブ	ての構造 2			説明して名詞を限定で	する		多の関係		
	1~が	一する	という	こと」	・接続詞that ・文型SV00			$\vdash$				• that	かまれ	る場合/否定疑問	
	与える	」など	につい	て表現	・文型SV00 ・文型SV0C										21
	する				人主5/00						l				41
7								21	1						
								- ^							
										Lesson 11		不定詞の	)発展的	用法	П
L	Lesson			3	動名詞					不定詞を用いたさまる	ざま		for-)	to···	
			興味の	あるこ	・主語・補語に		名詞			な表現を使う		· SVO+t	*		
	とを伝	てる			・目的語になる		3 ± + +=	ا ِ ا			Ì	• 疑問部	• • •	•	28
0					・不定詞と動名詞	可/慣井	·表現	7	_			· too~	to/	~enough to…	
8				ļ					2						
								$\vdash \vdash \vdash$							
										Lesson 12		比較/間	接疑問	/付加疑問/感嘆	+
	Lesson				現在完了				***	相手に確認したり、質	- 1	文	. = ./11-4/		
	過去に	したこ	とや過	去の状	・完了・結果を表	長す現在	E完了	28		を伝えたりする		・比較の	文の書	きかえ/倍数表現	
	態を、 現する	現在と	<b>希び付</b>	けて表	・経験を表す現在			40				・間接疑			21
9	2673			l	・継続を表す現在	E完了			3			• 付加頻			
				İ							- 1	・感嘆文	-		
				ļ							1				
											ł				
一位	考					<del></del>		<u>_</u>	1				***************************************		لــــــا

畑グフ

# 第3学年

	教 科 名	国語	科	目 名	7		国語	単	位	数	5(1)	
	対 象	中学3年		形態			必修		業形		一斉	
	学 習 の   到 達 目 標	① 中高一貫校の特色を ② 深い思考力・読解力	・表現力を	を身につい	ナて	<b>١</b> ٠<	。その力を各種文芸	コンテ				
-		<ul><li>③ 自分の考えをまとめ</li><li>① 知識・技能…定期者</li></ul>						0				
	評価の観点	<ul><li>② 思考・判断・表現…</li></ul>						評価。				
	<b>辛里、 48世 - 17 94-  </b>	③ 主体的学習に取り組										
		<ul><li>① 様々な教材を用いた</li></ul>	先取り学習	習を行い、	論	理的	な思考と確かな知識	を身に・	つける。	······································		
	学 習 方 法	② 学校独自教材や、型	にはまらな	よい多角的	的な	国語	へのアプローチ方法	で生徒の	の発想と	積極性を	と育てる。	
L		③ 他者に自分の考えや										
	教科書・教材等	新しい国語3(東書) 中学書										
<u> </u>		<u> </u>	本編(駿台) 間	ブレミ 授		カフ	業 計	古典クレ	トラー	ニンク48	レヘル1 (向乂) など	:
月	学習内領		りねら		時数	日	<del>y' in 'a management and a finish a granular</del>	feered	学	: 習 o	つねらい	時数
1	「黄金の扇風機」	文章を読み比べ			-12	1	「水の東西」	1.			する文章を読み、	1
	「サハラ砂漠の茶会	考えを持てるよ	うにする。				「まずは形から」				いを対比しながら 、要約力を高め	
4	┃「おくのほそ道」 ┃・古文の復習・基本	優れた表現や文 て作品を読み味			15	10	┃ ┃「宇治拾遺物語」		- "	キ し 1日 仏	の言葉とのつなが	20
Ì		じる古人の考え	方を捉える	。ま			・児のそら寝				また、作品を通し	
		た、作品を通し 理解する。	、用言・助	動詞を					て、助重	カ詞・敬	語を理解する。	
												Ш
	「万葉・古今・新古	今」 それぞれの和歌 作者の心情につ					「漁父之利」				文の句法を学ぶ。 読み味わい文章内	
		た、作品を通し							容を理解		此ックラス・スキーコ	
		する。										
5	「何のために働くの				20	11						20
		捉え、内容を理		な情報								
		を集め、要約す	る。				復習及び発展内容					
<u> </u>	「いつものように新	聞が届 東日本大震災に	おける非核	とか状況			「自然と人間の関係	なし	<b>す</b> た	「白鉄レ	一」では、論理の	+
	いた」	を見聞し、考え	を深め、次	は世代に			おして考える」		展開を理	2解し、	自然と人間の関係	
		繋げる。また、し、情報の意義									読み取る。さら を通して、要約力	
6		について考えを			20	12			を向上さ		を通して、安利力	15
ľ		解し、要約でき			20							
	古文:主語把握											
	17. 工品化性											
	漢文の基本	作品を通し、漢					復習及び発展内容					
	「論語」	また、繰り返しのリズムを感じ		、漢文			Edula per		/6 E 3 33		h 4-36.3.37.39	
		のクスムを感じ	<i>a</i> √0				「蛇足」				文の句法を学ぶ。 読み味わい文章理	
7					15	1			解を深め			15
	復習及び発展内容											
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									Ш
	「百科事典少女」 「尋ね合い」	文学作品を読み いて考える。ま					「動的平衡としての 多様性」				的平衡についての 例を踏まえつつ読	
	' <del>537</del> 4 α E‡ V ' ]	の動きを捉え、					シ は(工]		ちんせ、 み取る。	12K ~ 7£1	かで 明まん プリ訊	
8					5	2		ļ				20
	「鏡」	小説を読み味わ	い、描かれ	た人間		-	「今昔物語集」		昔の言葉	と現代の	の言葉とのつなが	+
		の生き方や場面	・心情の変		İ		・阿蘇の史、盗人に	あひ	りを理解	すると	共に、古典作品と	
		現に即して読み	乐わう。				てのがるること				文学作品のつなが また、作品を通し	
9	at the south of	Manda es III con Aco 3.	aft to w	.b. 16.	20	3		İ	て、古文	文法の総	総まとめ、敬語の	15
	古典の魅力 「鼠の婿取り」	当時の世界観を品を通し、用言		72、1年					総まとめ	を行い、	知識を深める。	
	PM>NHW 7 T	の理解を深める。		ייא ניאיי ייע	l		復習及び発展内容					
					ĺ	Ì	N I W O YOUNG THE	İ				
繙	考 ・適宜、作文・/	小論文指導を行う。	• 適官	書写の技	多类	シ行	។			······································		·i

	教 科 名	国語	科目	名	I	現代の国語	単		数	5(2)	
-	対 象	中学3年 )実社会に必要な国語	履修用		1	必修 必修 ショ・サービュー おおり はんりょう			態	一斉	
	字習の	) 突任云に必要な国語 ) 深い思考力・読解力									
	到羊目標	) 論理的思考力を養う									
<b> </b>	(i	) 知識・技能…定期考					700				
	評価の観点 2	思考・判断・表現…	·授業態度、発	表用資料	作成	は、課題提出物などで記	評価。				
		主体的学習に取り組	lむ態度…授業・	への取り	組み	、発表で評価。					
	1~	)様々な教材を用いた									
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	学校独自教材や、型								と育てる。	
_		) 他者に自分の考えや									
	数科亚•数状尘	見代の国語(大修館) 『レミアムカラー国語修			ニンク	740レベル2(向文)	7-	- ワードの!	丱 (向	文)	
-		年	間	など 授		業 計	画				
月	学習内容		りねらい		月			学	習 0	りねらい	時数
Ť	「白紙」	文章を読み論の			1	「言葉についての新				る文章を読み、文	
		いて理解し、自	分の考えを持つ	てる		認識」				を対比しながら認	
		ようにする。						識する。。	また、	要約力を高める。	
4	「伝える・伝え合う」	他者と意見を交ませることの基		彭ら   15	10	「社会への視点②」		+1 A >= VA 1	~ 444		20
		2 C 2 C C 2 C C 2 C C 2 C C C C C C C C	1. c 1. v.			社会への視点②]   さまざまな広告		仕会に溢れ  正しく解釈		々なメッセージを 。	
									, 🕶 (	-	
L								<u>L.</u>			
	「水の東西」	文章の論理の展				「贅沢を取り戻す」				社会の抱える問題	П
		提え、内容を理 を集め、要約す		月 報				点を掴み記 力を養う。		決の道を模索する	
			5					77 6 12 7 0			
5	わかりやすく書く	他者に意見を伝	える際の文章の	Di 20	11						20
		とめ方を学ぶ。									
l				l		復習及び発展内容		全国模試の	り対策	を行う。	
<u></u>			1 vt - 20 lbs -		<u> </u>	E tt. allo 18 3 - all. d	es.	3A	F1 1 -477 /		Щ
	「『安くておいしい国  限界	1』の 筆者の問題提起 て自分の意見を		261		「作業ロボットの悲劇	剝」			解し、主張を読み 体的に論理的な文	
	PA 21.3	(B) value	# C W J a					章に触れる	うう習付	貫を身に着け、他	
								者に内容を	伝え	る力を養う。	
6	「社会への視点①」	広い視野を持ち	現代社会を捉え	ا 20	12						15
	さまざまな規約	る。									
						復習及び発展内容	-	全国模試の	対策	を行う。	
	  「美しさの発見につい	で」情報を比較しな	がら 文音を報	##p	-	「インターネット時代	+n	統計咨判は	まに	自分の意見を他者	$\vdash \vdash$
	「脳は美をどうとらえ			ויאי		音楽産業」				ヨガの息兄を他有 出来るようにな	
	[יל							る。また、	説得	力を持った論を展	
7				15	١, ا			開するため うになる。		<b>科作りが出来るよ</b>	15
				15	1		1	∪- <b>0</b> ×0			12
						復習及び発展内容		全国模試の	対策を	を行う。	
Н	復習及び発展内容					入試問題演習①		共通テスト	や大き	学入試の過去の問	H
	and the second second						1	題を解き進	きめるこ	ことで、培った自	
								分の国語の する。	力をす	<b>発揮できるように</b>	
8				5	2		l	7 °a/0			20
							ļ				
	「空気を読む」	評論の内容を吟				入試問題演習②				学入試の過去の問	H
		容に対する捉えたわう。	方の変化を読み	味						の課題や伸ばした 考える。その後、	
		4270								写える。その後、 と立てることが出	
9	「『個人』から『分人	事者の意見に対し	して自分の多々	ž 20	3			来る。			15
	へ」	持ち、文章に表現									
		る。			l						
					l						
備	考 ・適宜、作文・小	論文指導を行う。	・適宜、書写	子の授業	を行	う。					

教 科 名	国語		名		言語文化	単 位 第	数 5(2)	
対象	中学3年	履修形息			必修		態 一斉	
	① 上代から現代に亘る							
到達月煙	② 現代文学・古典文学 ③ 表現技法や古典文法						育砂。	
	① 知識·技能…定期考					及心と休める。		
評価の観点	<ol> <li>思考・判断・表現…</li> </ol>					+などで評価。		
評価方法	③ 主体的に学習に取り	組む態度…授業へ	の取	り組	lみ、発表、探究学習な	さどで評価。		
	① 知識の定着に努め、	様々な作品に触れ	その	特徵	(を理解した上で世界観	1の正確な把握を	目指す。	
1 1	<ul><li>② 教科書・図説・関係</li></ul>							
1	③ 発表資料作成や受験							<i>5</i> "。
	言語文化(大修館) さ プレミアムカラー国語便							
	年	間 授		(lul	業計	画 画	() 目作/イストなど	
月学習内容		つねらい	時数	月			習のねらい	時数
復習及び発展内容	······································				古文:「方丈記」		見の基調や世界観をはじ	
(	The settle of the children and the child	S8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			・行く河の流れ		₹現や比喩などの修辞技 レ、的確な描写とその表	
古文:「宇治拾遺物  ・田舎の児、桜の散	語」   表現の特徴を字  るを見   世界観を感じる	ぶとともに古文の ます文法	1.				ついて考える。	
4 て泣くこと	の助動詞を中心	に、敬語について	15	10	古文:「伊勢物語」	歌物語の特	f徴の一つである和歌や	20
・絵仏師良秀	も理解し深めて	いく。			・初冠	表現技巧を	:理解する。また、当時	
					・月やあらぬ		Eき方や文化、考え方な 「認識を深める。	
游子· 「松口・/空(F	日本) 満土田のナナウ	<b>電差的な事理に</b>	_	_	+			4-4
		寓意的な表現に注 を捉え、人物や思			古文:「土佐日記」 ・門出		こや、文体、意図を理解 O心情を味わって読む。	
「臥薪嘗胆」(十八5		理解させる。句法			・帰京	また、表現	しや修辞法、文体等の特	
5	や句形を習得す	る。	20	11		色を理解す	<sup>-</sup> る。	20
0			20	11	小説:「セメント樽の		登場人物との関係を理	
		開・表現技法を学 品を通して、当時			の手紙」		会話文や手紙から登場 Lや心情を理解する。	
	の人々の考え方							
小説:「羅生門」	小説を読み味わ	い、描かれた人間			漢詩:・送汪倫	唐代の詩人	たちの人生観や自然観	+
古文:「今昔物語集	10日17日日1 マアミヤフ.1	・心情の変化を表			・送元二使安西		とめ、漢詩独特の口調を	
巻第二九第一月		味わう。古の時代 た世界観を感じる			・過故人荘 ・月夜		また、近体詩の形式や 注を理解する。	
6		活かせるようにす	20	12	・香炉峰下			15
	る。また、古文	文法・表現につい いく。						
	(123)				復習及び発展内容			
Land Both.	III - 7-33	.12			Form Jan		10 - 76 - 1-6 - 70	$\perp \perp$
短歌:十二首 俳句:十五句	俳句・短歌に興り の情景や心情を	味をもち、作品内 読み味わう。ま			古文:「更級日記」 ・あこがれ		:どへの強い憧れを抱く 「を理解すると共に、当	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	た、自分の作品	を仕上げ、俳句・			0) = 1, 40		いた思想を認識する。	
_	短歌の大会への	芯募を叶える。						
7			15	1				15
復習及び発展内容			$\vdash \vdash \vdash$		漢文:雑説(韓愈)	当時の思想	を読み解き、風刺に注	+-
Service Service Conf.					COLOR CHICAL	意しながら	内容を捉え、自然観・	
							時の人の考え方を感じ 、句法を習得する。	
8			5	2		14x'00 0 0 /c	· HIME HIME AND	20
小説:「青が消える」		とへの理解につな	T		復習及び発展内容			
	かる記書の意義。	とその効用につい						
9 漢文:「故事成語」		のおもしろさや意	20	3				15
・画竜点睛		里解し、用法に慣						
・糟糠之妻・塞翁馬	ー れる。また、漢プ ー る。	女の句法を習得す						
		<i>に</i> 行ら						

	教 科 名		社会	科	目 /	名		公民・公共	単	位	数	3	
	対 象		中学3年	履	修形的	態		必修	授	業形	態	一斉	
Г	学習の	① 日:	本の政治経済のし	くみが	理解できる	0							
	到達日煙		会の一員として生					· -					
								主体的に生きる公民			能力を具	身につける。	
	※ 価の知らし	-						ウシートをもとに評					
	評価 方法	② 思	考・判断・表現…	授業内	の態度、発	言や	発表	と、定期考査、ワーク	シート	をもとに	評価する	5.	
	нт виц // 1/4				<del></del>			ワークシートをもと					
1		① 予	習と教室での授業	を基本	とし、解説	・補	足說	明をまとめ、基本事	項をお	さえる。			
	学習方法	_	教材等で知識の定										
								職や基本事項をふま	えて答え	える。			
	数拟型·数状型		社会 公民(東京		公共(東	京書	籍)						
_	AVITH AVIT	公共ワ	ークノート(東京										
	Nr <del></del>		年	間			<del></del>	業計	画		,		
月	<del></del>	字	学習の				月	<del></del>	ř			りねらい	時数
	[公民]	n 4. >-	現代社会の特色					[公民]	K 2 3	1		契約、消費者問題	\
	第1章 わたしたちの	ル生活	化、情報化、少 政治、経済、国					第4章 わたしたち <i>0</i>  しと経済	ソくら				
	と現代社会 1 現代社会とわた	1 +-	政信、経済、国					し C 胚併   1   2 た   し 奴 汝				式会社のしくみ、 色と課題を理解す	
4	り、現代任芸とわたりの生活	. U/-	日本の特色ある		- 0	9	10	1 くらしと経済 2 生産と労働		現代の1	に未り行	二 ( 味趣を理解す	12
	2 わたしたちの生	活レ	の意義について					2 工座こ万剛		رم ه			
	文化	- 11-4	対立と合意、効					-					
	3 社会の見方や考	え方	方、考え方を理										
	第2章 人間の尊重と		<b></b>		<del></del>	T	Г	3 価格の働きと金	融	生産資源	原を効率	よく配分する価格	+
	国憲法	•	な生活との関わ									機関が持つ役割を	1 1
	1 人権と日本国憲	法:	個人の尊厳と両	性の本質	質的平等、					理解する			
5	2 人権と共生社会		自由・権利と責	任・義	<b>務の関係が</b>	10	11	4 国民生活と福祉		国民生活	らと福祉	の向上を図るため	
1 3	3 これからの人権	保障	社会生活の基本	である。	ことを理解	14	1,,			の政府の	)役割を	理解する。	12
			する。										
1													
<u></u>	<b>か</b> の左 マロバー ロン・	1.31. 1	### ◆ ★ ◆ #d ==	-} <del>}-</del> <del>}-</del>	フなおりは	<u> </u>	<b> </b>	FA IL I		by the said	- 1 m - 2.	ACT 1991 1	4-4
	第3章 現代の民主の	文冶と	政治や議会制民					[公共]				循環について、実	
	社会		本的な考え方に国会・内閣・裁					第3章 経済社会で生	こさる		手界と	関連付けて理解す	
	1 現代の民主政治 2 国の政治のしく		国芸・四阁・森		上租外と関			私たち		る。	11年 し17日	界、財政のしくみ	
6	3 地方の政治と自		住民自治を基本		北方白治の	12	12					が、財政のしくみ 義と現状について	191
	地力の政権で目	111	考え方や、地方	, .								爽と呪みについて 連づけて理解する。	1 1
			仕組みについて	,						ンベルバッン・キ	・外に関	たっぴく生作する。	`
				., ,	-								
	[公共]		ベンサムの功利	主義・	ミルの内的			[公共]		働くこと	の意義	・労働市場の役割、	$\Box$
	第1部第2章 公共的	な空間	強制力、カント	の義務語	論などの			第4章 私たちの職業	生活	キャリア	アル 形成の	課題を理解する。	
	における人間として	の在	特徴を理解する。										
7	り方生き方					9	1	[公民]				る様々な課題と解	9
l '	第3章 公共的空間に	こおけ				9	T	第5章 地球社会とお	1				
	る基本的原理		間の尊厳と平等	における	る歴史的展			たち	1			ための経済的・技	
			開を理解する。					1 国際問題と世界		術的協力	たつい	て理解する。	
<u> </u>								2 国際問題とわた					$\perp \perp$
	第2部 自立した主体							[公共]	- 1			役割・集団安全保	
	て社会に参画する私		限を、実際の政		と手がかり			第5章 国際社会の中					
_	第1章 民主政治と私	ムたち	にして理解する。				,	きる私たち				諸問題への取り組	
8	THE COLUMN TO TH					3	2		i	みを理解	,	国際なみのサート	12
												国際金融の動向に	
										ついて果 けて理解		済的事象と関連づ	
<b></b>	第2部 自立した主体	<b>レ</b> 1.	行政の肥大化、	日本の音	経挙制度や	$\vdash$		第1章 公共的な空間				発達過程について	+-1
	て社会に参画する私		政党の課題、ネ					第1章 公共的な空間 くる私たち	1	理解する		たんだ はまた フィ・し	
	第1章 民主政治と私		成のしくみを理解					4 0 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 m	- 1		-	想家の考え方や、	
_	第2章 法の働きと私		社会規範上の法の			ارا						のとらえ方を理解 のと	
9		•	法の適応と解釈、			12	3			する。			9
			理解する。										
			司法権の成立過程	星や、選	建憲審査制				1				
L			について実例を										
備	考												

	教 科 名	数学		名		代数(数1)	単	位 数	4	
<u>_</u>	対 象	中学3年		態	<u> </u>	必修	<u> </u>	業形態	一斉	
i	学 習 の 到 達 目 標	要現・処理できる技 数学を活用して事象 現を用いて事象を簡 数学の良さを認識し	能を身につける。 を論理的に考察する力、 絮・明瞭・的確に表現で 資極的に数学を活用する	事 事 ま る 態 度	その本 J を 著 E 、 米	- · · ちり強く考え数学的論拠	を認識し	レ統合的・発展的に いて判断しようとす	(考察する力、数学的)	な表
	評価の観点 評価方法	① 「知識・技能」定	期テストによる評価 現」小テストや定期	テス	トに			·養う。		
	W THE L. M.	① 授業の進度はやや		かけ			/=	2	Table 1 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
-	学 習 方 法	<ul><li>② 教材等を用いて、</li><li>③ 大学入試問題など</li><li>高等学校 数学 I (</li></ul>	複雑な問題に取り組	み、1	解答	に繋がる方針を立て				) <sub>0</sub>
	教科書・教材等	4 STEP 数学 I + A(数	研出版)、チャート:	<b>戈基</b> 征		らの数学Ⅰ+A(数研		·		
月	学習内	年	間 授のねらい		月	業 計 学習内容	2 画	学 習 0	) ねらい	時数
4	〈数学 I〉 第1章 数と式 第1節 式の計算 1.整式の加法と減 2.整式の乗法	展開の公式をする。式の形の	利用できるようにす 特徴に着目して変形 犬が適用できるよう		10	第2節 2次関数の変化 変化 3.2次関数の最大 4.2次関数の決定	)値の ご 、 ・最小	関数の値の変化 でき、2次関数 を持つことを理 ることができる 様々な条件を満	をグラフから考察 が最大値、最小値 解し、それを求め	
5	<ol> <li>因数分解</li> <li>第2節 実数</li> <li>4. 実数</li> <li>5. 根号を含む式の 第3節 1次不等式</li> <li>6. 不等式の性質</li> </ol>	にする。また、 目して変形し、 適用できるよう	と理解し、文章題を	16	11	第3節 2次方程式 2次不等 5.2次方程式 6.2次関数のグラ ×軸の位置 7.2次不等式	式フと	用いて数量の変 の有用性を認識 れらを具体的な	て理解し、関数を 化を表現すること するとともに、そ 事象の考察や2次 となどに活用でき	16
6	7. 1次不等式 8. 絶対値を含む 方程式・不 第2章 集合と命題 1. 集合	等式 用いた方程式。 うにする。 [ 図表示などをF	を理解し、絶対値を : 不等式が解けるよ 用いて、集合につい 事項を理解できるよ	16	12	2次関数 既習範囲	の演習	既習範囲の演習	を行い定着を図る。	12
7	2. 命題と条件 3. 命題と証明	偽の判断ができ	ご考えることで、真 さるようにする。ま きを用いて、命題を うにする。	12	1	第5章 データの分析 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らば 四分位数 4. 分散と標準偏差 5. データの相関	`りと :	ともに、それを 析・整理し、傾 うにする。 四分位数、分散 の意味について	及い標準偏差など 理解し、それらを 傾向を把握し、説	12
8	集合と命題の演習	既習範囲の演習	習を行い定着を図る。	4		数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 1.3次式の展開と因 2.二項定理 3.整式の割り算 4.分数式とその計 5.恒等式	数分解		及び分数式の四則	16
	第3章 2次関数 第1節 2次関数と 1.関数とグラフ 2.2次関数のグラ	1	B動を利用して、い 関数のグラフがかけ	16	3	第2節等式・不等式の 6. 等式の証明 7. 不等式の証明		等式・不等式の	証明ができるよう	12
備	-tz.									

教	科	名	数学	科	目	名	幾何(数A)	単	位.	数	3
対		象	中学3年	履	修 形	態	必修	授	業形	態	一斉
学到	習 達 目	の 標		の仕方で 、数学的	を習得し 的な見力	、 事象 <sup>5</sup> や考え	を数理的に考察する能力 方の良さを知り、それら			る態度を	を育てる。
	価 の 観 価 方		<ul><li>① 「知識・技能」定期</li><li>② 「思考・判断・表現</li><li>③ 「主体的に学習に取り</li><li>①②が7割程度、③</li></ul>	」小テン り組む値	ストや定 態度」携	期テス 出物や	トによる評価 受業中の取り組みによる	評価			
学	習方	法	<ol> <li>教室での授業を基本</li> <li>放課後に演習問題、</li> <li>個人添削を行う。</li> </ol>	_ ,		が、授	業の進度はやや速く、復	習に時	間をかけ	既習範	囲の定着を図る。
教利	斗書・教材	等					)、未来へひろがる数学 からの数学 I +A(数研出		:館)		

月	学習内容	学習のねらい	時地	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1.集合の要素の個数 2.場合の数 3.順列 4.組合せ	場合の数を求めるときの基本的な 考え方についての理解を深め、そ れらを事象の考察に活用できるよ うにする。		10	第2節 三角形への応用 4. 正弦定理	角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 三平方の定理から余弦定理を導くことができる。また、三角形の形状を考察できるようにする。	12
15	第2節 確率 5. 事象と確率 6. 確率の基本性質	確率の意味を理解し基本的な確率の計算ができるようにする。 確率の基本性質を理解し余事象の 確率など、基本的な確率の計算が できるようにする。	12	11	6. 正弦定理と余弦定理 の応用	余弦定理や正弦定理を用いて、三 角形の残りの辺の長さや角の大き さを求めることができる。	12
6	7.独立な試行と確率 8.条件付き確率	独立な試行について理解し、そのさまざまな確率を求めることができるようにする。 条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、積極的に活用しようとする。また、条件付き確率を用いて頻度確率(原因の確率)を求めることができる。	12	12	7. 三角形の面積 8. 空間図形への応用 問題演習	三角比を用いた三角形の面積公式 を理解している。 正弦定理、余弦定理を空間図形の 計量に応用できる。	9
7		期待値を求めて、結果が不確実な 状況下において、その選択が有利 かを判断する際の基準として利用 することができる。	9	1	<数学A> 第3章 整数の性質 1. 約数と倍数 2. 素数と素因数分解 3. 最大公約数・ 最小公倍数	約数と倍数、最大公約数、最小公 倍数の理解を図る。	9
8	第4章 図形と計量	直角三角形において, 正弦・余 弦・正接を求めることができ, 応 用問題に利用できる。	3	2	<ol> <li>整数の割り算</li> <li>ユークリッドの互除法</li> <li>1次不定方程式</li> </ol>	割り算の商、余りの関係を理解する。 互除法の原理を理解し、互除法を 用いて最大公約数を求めることが できる。	12
9	3. 三角比の拡張	三角比の相互関係を利用して、1 つの値から残りの値を求められる。 拡張された三角比を利用して、座 標平面上に図示して考察すること ができる。	12	3	7. 記数法8. 座標の考え方	整数の性質を理解し、活用できる ようにする。また、n 進法を学ぶ ことにより位取りを理解する。	9

	教 科 名		理科	科	目 :	名		理科	単	位	数	3	
	対 象		中学3年		修形			必修		業形		一斉	
	学習の	1						的に探究するための	技能を	身に付け	る。		
	到達目標		8,実験などを行	, , ,				· · · ·					
<u> </u>		<del></del>		<del></del>				究しようとする態度		<del></del>		<del></del>	
	評価の観点							トの提出状況、及び・	その内:	容で評価			
	評 価 方 法		・判断・表現・				•		om er dist	in =Ti /m			
<u> </u>			的に字首に取り その板書内容をノ					動状況、課題の取り	組み状	兄で評価			
	学習方法		€の依晉的谷をノ ≷時に行う演習で										
	于 自 刀 仏	1	e時に行う横音で が進んで問題演習					. 'ఖం					
$\vdash$							-	ろがるサイエンス2(	啓林館	)		········	
	教科書·教材等			,	, , , , , , , , ,		_	テキスト1(中央教育	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	*			
ļ		1						テキスト3(中央教育			と人間の	生活(第一学習社)	,
			年	間	授			業計	画				
月		容	学 習 の	りね	らい	時数	月		ř	学	習 0	りねらい	時数
	エネルギー編①							生命編③					
	・力による現象		・力の種類につ					・遺伝の規則性と遺	伝子	i		て形質が親から子	
		1	<ul><li>・力の表し方に</li><li>・質量とばねの</li></ul>							へ伝わ  ・進化に		を学ぶ。 学ぶ	
4			て学ぶ。	-> 0 071	WIND YV.	9	10			VE 1010		1 ~-0	12
	エネルギー編③		- · · · ·										
	・力の合成と分解		・水圧と浮力に	-	• - 0								
<u> </u>	de 11 v		・合力と分力に	-	• • •								
	・物体の運動		・等速直線運動										
		ĺ	・斜面上の物体の	∨ノ 連 野 (	についく字								
		ĺ	。。 ・作用・反作用に	ついて	'学ぶ.								
5	<ul><li>仕事とエネルギー</li></ul>	-	・滑車を使った		•	12	11						12
			て学ぶ。										
			・エネルギーの	変換に	ついて学ぶ。								
	・多様なエネルギー		・化石燃料につい		-					···		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	その移り	変わり	・放射線につい	て学ぶ。				科学と人間生活			- n	2 1 226 > 0	
		ŀ						・材料とその利用		・ファス ・金属に		について学ぶ。 <sup>学 ど</sup>	
												すか。 について学ぶ。	
6		ŀ				12	12	・医療と食品				いて学ぶ。	9
												いて学ぶ。	
		-								・食品に	ついて	学ぶ。	
						L		・人の生命現象		·DNA			$\square$
								・微生物とその利用				いて学ぶ。 について学ぶ。	
								・威生物とて切利用				について学ぶ。 について学ぶ。	
								<ul><li>熱の性質とその利力</li></ul>	用	・比熱に			
7						9	1					ついて学ぶ。	9
								・光の性質とその利力	用	,- ,-		さについて学ぶ。	
												ハて学ぶ。	
	am rate 2-10										析・干渉	・偏光について学	
	環境編③ ・自然界のつりあい		<ul><li>・食物連鎖につい</li></ul>	ر عدم س	• •				]	ぶ。 ・電歌社	1×~! · ·	ナ <b>ニ</b> と *	
	・日公外のつりめい		<ul><li>・食物理類につい</li><li>・微生物のはたい</li></ul>					・自然景観と自然災害	<u> </u>	・電磁波 ・白鉄災		て字ふ。 則と防災について	
		1	・自然界での物質					口が水塊に口が火		学ぶ。	⊟ v2 1″(	MI C MI DEVE DV , C	
8	・人間と環境		・水質調査の仕る			3	2			•	る地表の	の変化について学	12
										\$.			
							ł	・太陽と地球	İ			組みについて学ぶ。	,
						$\vdash \vdash$						こついて学ぶ。	
								・これからの科学と		· 太陽曆		て字ぶ。 の発展について学	
							ĺ		間生活	・情報伝	连仅何(	<b>の光版についく子</b>	
								XII		-	段の発息	展について学ぶ。	
9						12	3		- 1			展について学ぶ。	9
									l				
									ļ				
151	::12.			·	<del></del>	Ш					<del></del>		
備	<b>4</b> 5												

	教 科 名	理科	科目:	名	乖	4学と人間生活	単	位 数	2	
	対象	中学3年	履修形態	態		必修	授	業 形態	一斉	
	, ,	自然現象に対する異								
L		科学的に調べる能力							見方や考え方を養	う。
	型(m)(/) 箱 点	知識・技能・・・定					その内	容で評価		
	評価方法 1	思考・判断・表現・					6m -a 16			
-		主体的に学習に取り					組み状	况で評価		
		授業の板書内容をノ								
	1 11 11	) 授業時に行う演習で ) 自ら進んで問題演習				$\mathfrak{D}_{\mathfrak{o}}$				
-	W.	学基礎(東京書籍)	c.TIV、理解を保	いる。			······································			
	教科書・教材等 1	学図録(数研出版)								
	liα	年	間授	:		業計	画			
月	学習内容	学習の	りねらい	時数	月	学習内容	\$	学 習	のねらい	時数
	第1編 物質の状態		······································	T		2. 物質量	<del></del>	・物質量とそ	の単位「mol」に	1
	第1章 物質の構成元素	₹						ついて学ぶ。	,	
	1 胸壁の出八	. 躺近小八层山	<b>公</b> 解 丹·卡士					・気体の密度	について学ぶ。	
4	1.物質の成分	・物質の分類や	分離、生成方法を		10	3. 溶液の濃度		・質量パーセ	ント港度レ	
	   2.物質の構成元素		、元素の概念を			9· 时以少恢汉			マト優及と 求め方を学ぶ。	
		学ぶ。	Common death of August							
	3.物質の三態	・物質の状態変	化について学ぶ。			4. 化学反応式と			おける物質の量的	
				T		量的関係		関係を物質:	量を用いて学ぶ。	
1										
5					11					
	第2章 原子の構造と									
	元素の周期表									
	1. 原子の構造		電子配置と原子の							
6	1. 原丁切菁垣	性質との関係			12					
	2. 元素の周期律と	・元素の周期律	·							
	元素の性質	学ぶ。	ميتنا 1976 ميليدو - دوم فعد بر سب							
				Π	ŝ	第2章 酸と塩基				
	生9巻 ル学仕へ					Th. 1. Ste te		## 1. 14: ++	ケギ タ作家	
	第3章 化学結合					1.酸と塩基		・酸と塩基の気 反応についる		
7	  1.イオンとイオン結合	↑ 合 ・イオン結合の <sup>-</sup>	でき方と性質を		1					
		学ぶ。	بيد . بر محمد په خود		2	2. 水素イオン濃度	とpH	<ul><li>酸と塩基の引</li></ul>		
	2. 分子と共有結合	・共有結合ので						水素イオン液	農度の関係を学ぶ。	
		配位結合につい	ハて学ぶ。					・水の電離とp	Hについて学ぶ。	
		・電気陰制度と気	分子の極性に							
		ついて学ぶ。			3	3. 中和反応と塩の	生成		よび塩の種類と	
8	3. 金属と金属結合	・金属結合のでき	キャレ枡厨1つ					性質を学ぶ。		
8	3. 並腐こ並腐陥百	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	さがて注負に		2	1. 中和滴定		・中和滴定の物	4作を翌得1	
	4.物質の分類	・ファンデルワー	-ルスカと			** I THREAT	l	量的関係を含		
		水素結合につい								
		・物質の分類方法	去を学ぶ。		$\exists$					П
	Add a Same									
	第2編 物質の変化									
9	第1章 物質量と 化学反応式				3					
	1. 原子量・分子量	・相対質量の概念	。 ス学ネタ							
	・式量・対す量・対す量・	・物質のモル質量								
		学ぶ。								
備	<del></del>					······································				

		名		音楽	科		名		音楽	単	位	数	1	
<u></u>	対	象		中学3年		修形		Щ	必修		業形		一斉	
	NA 7151	- 1							fや音楽への興味・関	引心を高	め、音楽	終によっ	て生活を明るく豊か	な
	学習の	の一		)にし、生涯にお b##よの典かさな					. 態度を育てる。 D技能を伸ばし、創造	+ 44.1 = ==	由上ッか	· + + =	u	
	判 连 日 1	- 1							)技能を伸はし、側定 『する能力を高める。		現する能	刀を尚	める。	
$\vdash$									(する能力を尚める。 )で個性豊かに技能を		けている			
	評価の観点	点						_	こさや美しさを個性豊	- , ,		0		
	評 価 方 治	(- <b>)</b>	_						主体的に音楽活動を			を味わ	ň	
$\vdash$				で呼吸による豊か						- 13 * `	Caseo	C 21/42	<i>7</i> 6	
	学習方法	法(	<ul><li>② 和梁</li></ul>	と器の基本奏法を	学ぶ。				•					
		(	③ 楽典	4の基礎を理解し	、視唱	(奏)力を付	ける	c						
	教科書·教材等	AÇ. E	中学生0	の音楽2・3下(教	育芸術社	生)、中学生	三の器	楽(	教育芸術社)ほか					
	教科青•教材 =	守												
L_				年	間		乏		業計	画	·			
月		内容	ξ	学習の				月		容	<del></del>		のねらい	時数
	「花」 「早春賦」			・腹式呼吸を基	本とし7	に置かな発	1		「星に願いを」 「モルダウ」		1 "		fを覚え、美しい音 なたよ	
	一个例			声を行う。 ・基本的な発声	にかっ	混亩合呾			「モルタワ」   「ホフマンの舟歌」		1		にする。 /サンブルを目指す。	
				としての響き					* 0日の内容の継続		- 貝の	□[ v · ) ✓	· クンノルを口担す。	4
4				い、のびのび	, ,		1 0	10	77 - 21 3-12 - 3 112/19	, L	l			1
			l	るようになる。	,									1 1
														1 1
			Ī									,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
									鍵盤楽器・バレエ・	・合唱	・鑑賞を			
			1				l		・協奏曲の名曲				ることなく、幅広	
	「心の瞳」		1	・混声合唱の調	fn ≵. ⊟ b	±-}-0 ~ 0	1,		能・雅楽		小草多	彩観 を身	に付ける。	
5	「心いり地理」		į	部合唱を行う。		B9 2~3	4	11	施・雅栄 					4
			1	46F1 F1 F11 76							İ			1
											j			
6							4	12						
											ļ			3
			1						和楽器の種類と歴史	しを	・和楽器	品による	演奏を行う。	$\sqcap$
									学ぶ				的な音楽文化の良	
			- 1									気付き、	尊重する心を育て	
7			1				3	1			る。			3
								_						
	「星に願いを」	···		・Aリコーダール	こよる独	換・アン	+	<del>                                     </del>	「卒業式関連唱歌」		・混声台	・唱の調	和を目指す2~3	H
	「モルダウ」		l	サンブルを行					a pro- stropped but WA		部合唱を			
	「ホフマンの舟	一歌」		・#・♭の運指を	を覚え、	美しい音								
8			}	を出せるようり				2						4
٥				・質の高いアン	ナンブル	を目指す。	1	4						
$\dashv$							$\vdash$	$\vdash \vdash$						Н
			1											

備考: 曲目は変更される場合があります

9

L	教 科 名	美術	科目	名	Τ	美術	単	位	数	1	
	対 象	中学3年	履修形		$\perp$	必修		業形	態	一斉	:
	学習の到達目標	① 表現及び鑑賞の幅点② 感性を豊かにし、美					い、美	術を愛好	する心情	青を育てる。	
		① 美術の創造活動の喜び					する.	(差術への)	関心・音	欲・能度)	
	評価の観点	② 感性や想像力を働かせて									(力)
L	評 価 方 法	③ 感性や造形感覚などを働か									
	学習方法	個人制作と一斉授業	<b>\$</b> 0								
$\vdash$	first and to the last to be the		、美術資料(秀	学社)							
	郑松 里•郑环	水彩用具、スケッチブ;									
Ļ	)	年		受	T	業計	画				
月	学習内 3 鉛筆で静物、風景を		) ねらい   T	時数	月	学習内容				)ねらい を工夫し、	時数
	人物のクロッキーな					使って木彫する。	ŊŒ	美しい木			1
		する。				*9月の内容の継続					
4				3	10						$ $ $ $ $ $ $ $ $ $ $ $ $ $ $ $ $ $
											1
						シュールレアリズム		1		などの技法を	
						超現実的な絵画を描みる。	V 1 (	取り入れ	た表現	を試みる。	
_				١,	١.,						
5				4	11						4
l											
				-							-
6				4	12						3
	水彩、色鉛筆で静物	、風 鉛筆デッサンで	学んだ明暗	+-	-	鑑賞する。		仏像築た	经营士	ることで、当	
	景を描く。	量感などを色彩								美術作品の関	
								連性を理	解する。		
7				3	1						3
						自画像を描く。				じ取ったこと	
								をもとに	表現する	ఏ.	
8				1	2		l				4
							İ				
$\dashv$	シナ材の板から彫刻。		<u></u>	+	-						H
- 1	使って木彫する。	美しい木彫を創む					l				
9				4	3		1				3
į											
備		<u> </u>									

F	教     科     名       対     象	保健体育 中学3年		名態		保健体育 必修	単 授	位 業 形	数態	3 一斉	
	学 習 の 到 達 目 標	① 心と体を一体として 運動に親しむ資質や かな生活を営む態度	°能力を育てるとと	康・もに	安全は健康は	についての理解と運 の保持増進のための	動の合 実践力	理的な実の育成と	銭を通 体力の	して、生涯にわたっ 向上を図り、明るく	って . 豊
	評価の観点 評価 方法	① 忘れ物や提出物なと ② 各競技の技能を実技 ③ 各学期ごと、自己の	ラストによって総	合的	に評値	価する。		-		,	
	学 習 方 法	<ol> <li>集団行動</li> <li>基礎的・合理的な通</li> <li>教科書・資料を用い</li> </ol>									
	教科書·教材等	必要に応じて視聴覚教材 中学校保健体育(大日オ	<b>だ</b> )								
月	学習内	年	<u>間 授</u> ) ねらい	~~~~	月	業   計     学習内容	マ 画	学	: 習 (	のねらい	時数
4	体つくり運動	体を動かす楽 味わい、健康の 向上を図り、目 計画を立て取り る	しさや心地よさを 保持増進や体力の 的に適した運動の 組むことができ スポーツの意義に		1	バレーボール	1	勝敗を い 携 に が よ で 単 ボ と 連 携 し	: 競応 : : : : : : : : : : : : :	される。 されるでを味わまた。 た技能で仲間と連 は、役割に応じた 定した用具の操作 によって空いた場 がを展開する。	12
5	陸上競技	記録の向上や各 びを味わいる。 身にで動いたのい。 積などを一をを大り、 とととととなができることができることができることができる。	競技の楽しさや喜 種目特有の技能を 組むととめ、ルー はでしようとしていることを果・ を果を全を確保す。	12	11						12
6		め方、運動観察	行い方、体力の高の方法などを理解に応じた運動の取できる。	12		ベドミントン		い携 ボール ボール 推り と 連携し	にム型作た動作を動き	しさや喜びを味わた技能で仲間と連開できる。 、役割に応じた 定した用具の操作によって空いた場	9
7	サッカー	い、作戦に応じ 携しゲームが展 ゴール型では 作と空間を作り	しさや喜びを味わ た技能で仲間と連 開できる。 安定したボール操 だすなどの動きに 入などから攻防を	9	1						9
8	※健康な生活と 病気の予防		疾病の予防につい ことができるよう	3	2	ベスケットボール		い、作戦 携しゲー ゴール 作と空間	にム型をへじ展はり侵	しさや喜びを味わ た技能で仲間と連 開できる。 安定したボール操 だすなどの動きに 入などから攻防を	12
9				12	3						9
俳	考							<del></del>			

VH1 - 7

Г	教 科 名	技	が・家庭	分	野	名	Π	家庭分野	単	位	数	1/2(前期)	
	対 象 中学3年			修 形	態				授業形態 一斉				
	学習の	1		学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得する て理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を身につける。									
<u> </u>	到達目標						_	<del></del>	うとす	る能力と態	態度を身	アにつける。	
	評価の観点		戦・技能…和-区:						⊕Ti /m' _}-	7			
	評 価 方 法	I						tシートなどをもとに シートなどをもとに					
-			をでの一斉授業で					2 1.45.4.BCK	at pur 9	<i>৩</i> °			
	学 習 方 法	1 -	角の中で実践的な			V14.	3						
Г	教科書·教材等	技術・影	家庭 家庭分野	(教育	図書)				,				
	教育·教育等	<u> </u>								***************************************			
_	T W 79 (		年	間		Ž	T =	業計	画	T			
月	学習内 3		学 習 Œ ・「生活の自立			時数	月	学習内容	¥	学	習の	)ねらい 時数	
İ	わたしたらの生活	の日立	る。	1 (141	内かを与え								
			・自立するため	の課題	を把握す			/					
1			る。			٦	10						
1	第2章 幼児の生活	と家族	・じぶん絵日記 分の幼児期を思			1	10						
			幼児に目を向け		にり対処な					/			
	1		・幼児が必要と										
			量を理解した上 を支えるメニュ										
			して理解する。	≪ blub >	生犬白で地	İ	İ	/					
5						4	11						
											/		
İ													
_													
			・乳幼児の一日の、遊びの重要										
			<ul><li>幼児の遊びの</li></ul>	種類や行	役割、遊び			/					
			の中で育つ力に	ついて	里解する。		10						
6						$\frac{4}{1}$	12						
										_			
-	1	ŀ	・幼児の体、運	助機能、	言語、情	+						<del></del>	
			緒、社会性の発達	室につい	いて知る。								
			・幼児が身につい生活習慣につい										
7				• / 😅 🤅		3	1						
	}												
			・子どもが育つ			П				:			
			の役割について	ぎてる。			ļ						
							i						
8						1	2					/	
										,			
l		l							İ				
<u></u>		-	・家庭や家族の	む 木 かっ ナ	a 数色 to for	+	_						
			・家庭や家族のおり、家族関係をあ										
			を考える。					/					
9			<ul><li>家庭生活は地域れていることを発</li></ul>		てに文えら	$\begin{vmatrix} 4 \end{vmatrix}$	3					/	
"		ľ	ریث سب سب ب	- 0		1	٦						
										/			
L	<u> </u>												

Γ-	教 科 名	外国語	<b>运</b> 【	———— 科 E			T	ミュニケーシ	ョン拡揺す	単	位	数	A	
$\vdash$	<b>教 科 名</b> 対 象	中学3		程 修			+-	ミュニケーン <b>必</b> 修	<del></del>	担 授	業 形	態	4 一斉	* **
H		<del> </del>					2深						際のコミュニケー	・ショ
			て適切に活用											
	学 習 の 到 達 目 標		ケーションを や要点、詳細									こついて	、英語で情報や表	考えな
		③ 英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度 を養う。												
		<sup>①</sup> いるか。	(知識・技能	)									する技能を身につ	
	評価の観点 評価 方法	② 目的や場面 を表現した	面、状況等に とりしている:	応じて、 <b>(</b> か。 (思考	貫れ親し 冬・判断	んた ・表	語(現)	可や表現を何	使って、言	舌される	内容を理解	解したり	、自分の考えや気	気持ち
		英語を通して自分の考えや気持ちを伝えあうことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み、 <ul><li>③ コミュニケーションを図ろうとする態度を身につけているか。問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身につけているか。(主体的に取り組む態度)</li></ul>												
<u> </u>		<ol> <li>予習にて、</li> </ol>	本文理解に	必要な語彙	<b>東や文法</b>	事項	を	権認してお	< 。			**	······································	
	学習方法		業を通して、本文内容や文法事項などを理解する。 ③・聞く・音読する・書く・発表するなど、積極的に教科書内容に触れる。											
	2 (2) (2)										0			
$\vdash$		④ 英語を通し 教科書 NEW					-				INTCATION	1(車	京書籍)	
	教科書·教材等												·八百福) 语 必修編(Z会)	)
			年	間	授			業	計	画				
月			学習の	ねらい	`	時数	月	学	習内	容	<del></del>		りねらい	時数
	Lesson 1	完了形						物や人の特			・関係代	• • • • •		
	過去のある時点より したことや状態を、	OHITC						り、補足割	説明をした	りする	・制限用			
4	結びつけて表現する		完了 など			12	10				1	21 !!	commercial security	16
								Lesson 8			関係副詞			
	Lesson 2	助動詞	の発展的用法	去				時や場所、		をより	・関係代			
	  過去の推量や過去の	翌暦を	を表す助動詞					詳しく説明	すする		1		, when, why	
	表現する	・助動	・助動詞+have+過去分詞 ・would / used to など									詞how /	非制限用法	
		• worn	.d / used to	728										
5				まざまな表現		16	11	Lesson 9	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<del></del>	名詞節			16
	Lesson 3	不定詞	を含むさまさ				11	名詞の働きをするさまざま		名詞即    ・復) 疑問詞に導かれた名詞領				
	人に対する評価や行	To the state of th			İ			な表現を使う		· What d	o you t	hink $\sim$ ?		
	的を伝える		・復) in order to / 不定詞 置詞 / 不定詞の否定形		+前						・名詞節を導くif, whether			
		直訶 /	小疋訶の否	疋形							· It ~	that …		
								Lesson 10	····		公詞・ハ	記様せ		-
6		(		動詞		16	12			分詞・分詞構文   ・SVC(=分詞), SVOC(=分詞)			9	
	Lesson 4					10				1 th C	· SVC(=分詞), SVOC(=分詞) · 分詞構文		1 24 H.A1	
	F)+4=4 + + + + + + + + + + + + + + + + + +	• 使役	動詞								・否定形・完了形の分割		<b>多の分詞構文</b>	
	人に行為をさせたこ せる	・知覚			Ţ									П
		1	(appear) to											
		・完了	不定詞				1	I and 1*			仮定法			<b>-</b>   9
7						12		Lesson 11 事実とは異	<b>!</b> かスァレ	か相侮	仮定法  ・仮定法	過去		
							l	サ夫とは共して表現す		こ心像	・仮定法		7	
	Lesson 5	受動態	の発展的用法	Š		ľ							as if(though)	H
	誰かにさせたことを	表現す・助動	詞を用いた受	き動態	[									
	る	1	形/完了形の											
		・ 句動 受動態	詞・使役動詞	『・知覚動	詞の		2							12
8		文勤悠			4		Lesson 12			ナナヤナ	か主理/	比較・強調・否	4	
	Lesson 6	副詞節	副詞節				- 1	Lesson 12 さまざまな表現を使うこと		定・倒置	ょ衣呪/	比較 " 畑湖 " 省		
	文と文をつなぐさま				ŀ	16 3		で主張や気			比較級・最上級を用いた表現			
	表現を使う		'譲歩'など	を表す接	続詞			に伝える			・強調構	文		П
			り''結果'な	どを表す										
9		詞									・倒置		9	
	Lesson 7	関係代	夕詞											
	POSSOII (	天  木   〜	는 ITM											
		フラファトの見				I.					L			لــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ

備考 学習進度は、クラスにより異なる。NEW TREASURE3学習後は、ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATIONを学習する。

Г	教 科 名	1	外国語	科	<u> </u>	名	<del> </del>	英語表現Ⅰ	単	位	数	T 3	
-	対 象	†	中学3年	履		態	+	必修		業形			
$\vdash$		①英					を浴	党めるとともに、これは				<del></del>	ーショ
	学 習 の 到 達 目 標	② 手	や聞き手の意図な	′を行う :どを理	目的や場面 解し、これ	i、サ らを	活用	に応じて、日常的な話題 目して適切に表現したり	伝えま	らったりす	つるこ。	とができる力を養う	
								考察し、論理の展開や表					
	評価の観点	(خ	技能を身につけて	いるか。	。(知識・	技能	<u>(</u>	理解し、自分の考えや気 歴期な得ることの含みな					
	評価方法	S 5:	か。(思考・判断	・表現	)			情報を得ることや自分の って、自律的、主体的に					
		③ c	どの発信能力の向	上を図	ろうとして	いる	⊅3°	(主体的に取り組む館	- 失而で 長度)	- MV ( /	, L;		э /
			習にて、本文理解 業を通して、本文										
	学 習 方 法	③ 読む・聞く・音読する・書く・発表するなど、繰り返し積極的に教科書内容に触れる。											
_		<del></del>						えたい内容を英語で表	長現でき	るように	する。		
	教科書·教材等	1	FACTBOOK Engli GRAMMARMASTER	_	_			1(桐原番店) 校オリジナル教材)					
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	年	F	間 扌	受	- (-1)	業計	画				
月		容	学習σ			時炎	女 月					のねらい	時数
	FACTBOOK Unit 0 Get to know more a your classmate	about	・相手についてを聞き出す。		いったこと			FACTBOOK Unit 5 Save food you can s eat!	still	解決の結論を		合わせて条件に	
4	FACTBOOK Unit 1		・希望を伝え、	フケジ	11.7.	9	10						
	Smart home, smart	city	相談しながら	しながら決める。 会についての感想をブログ				factbook Unit 6 How can we become more health-conscious?		・自分の生活習慣を確認し、変 たい習慣を伝える。 ・相手からの悩み相談にアド			
			・時を表す表現							バイス	をする	00	
5						12	11			・動名詞			12
	FACTBOOK Unit 2 History and future our town	<ul><li>・通りを見ながら</li><li>ついて説明する</li><li>・移住体験ツアーの広告文を書る</li></ul>	る。 ーを進め				FACTBOOK Thinking Logically 3		まとま ・フード	りの ロスを	や説明が示された   る意見文を書く。   減らすことについ   一ションをする。		
	・完了形			-133	1.300			FACTBOOK Unit 7 How many clothes do buy?	you	決める	0	品を相談しながら の感謝の気持ちを	
6	FACTBOOK Thinking Logically 1	・意思を明確に表 ある文章を書く ・自分が将来、く たいかスピーラ	く。 今の町に	住み続け	12	12			伝える ・分詞	0		9	
	FACTBOOK Unit 3		・興味のある商品		し、その	L	<u> </u>						H
	disaster · 防災意識		特長を説明する・防災意識を高め ・防災意識を高め の文章を書く。	りるパン	/フレット		1						9
7	- 助動詞		・助動詞			9	1	FACTBOOK Unit 8 How do you decide wh products to buy?		紹介す ・図表を	る。 見なが	品を比較しながら らパンフレットの	
- 1	FACTBOOK Unit 4		・相手が知らない	\情報を	説明					内容を		_	]
	Water supporting our する。 lives ・問題に対処 紹介する。 ・受動態			ろための	道具を	3		ACTBOOK Thinking Logically 4		<ul><li>・つなぎ言葉を用いて論理的な流れの意見文を書く。</li><li>・賛成と反対の立場に分かれて簡単なディベートをする。</li></ul>			12
			~ ~ ~ 10h					FACTBOOK Unit 9 A variety of ways to improve your English	.	的に説明し		る良い方法を具体 う。 を伝えあい参加	
-								F Jame Milot101	- 1			決める。	
	FACTBOOK Thinking Logically 2			適切な理由が示されたまとまり のある意見文を書く。		12	3			Part Na Part			9
			·										
1.44	女 学習准年ナル												

備考 学習進度または中心的に使用する教材は、クラスにより異なる。